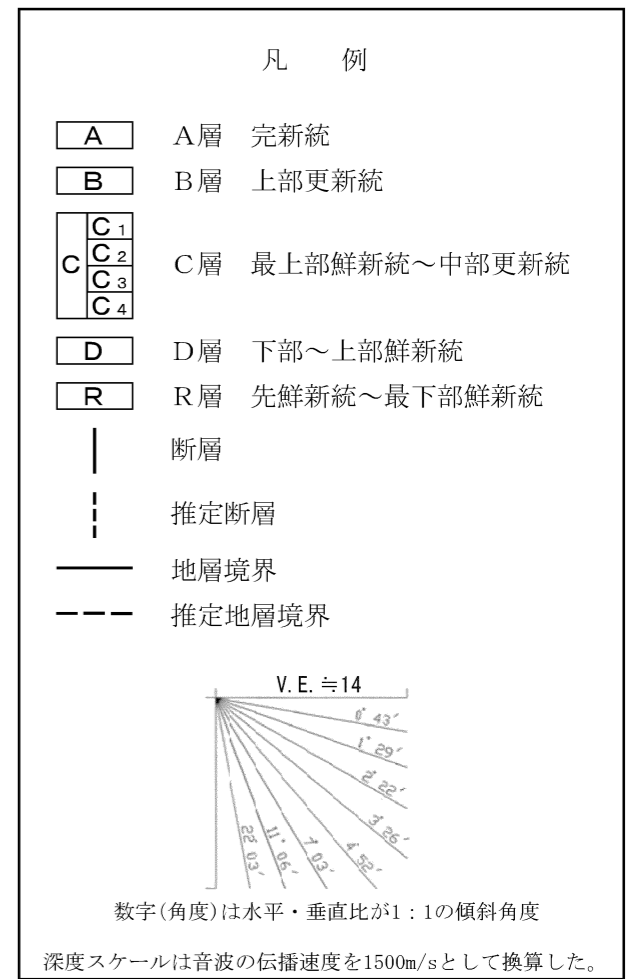
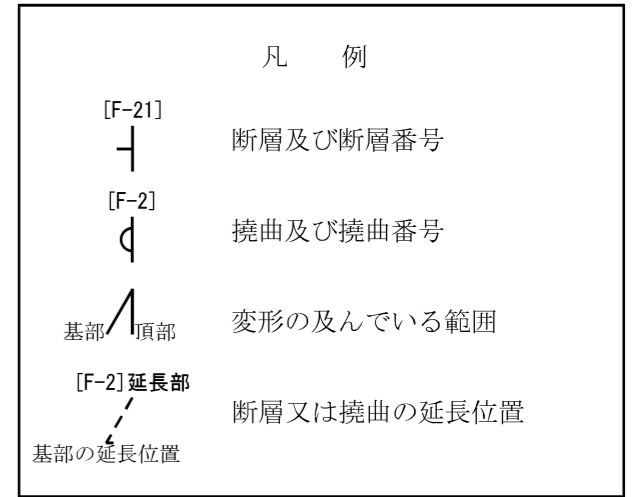
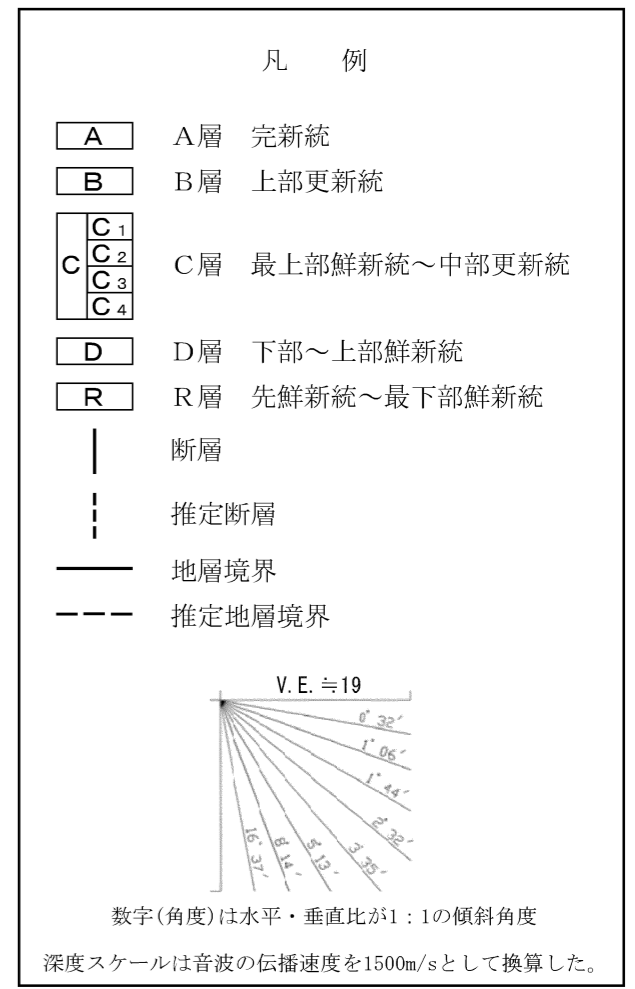
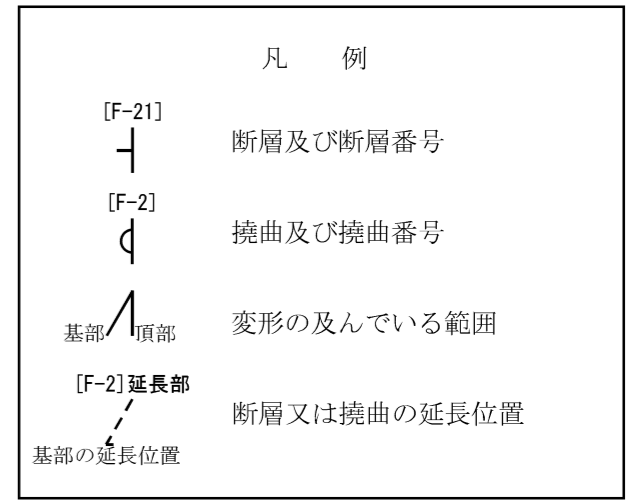
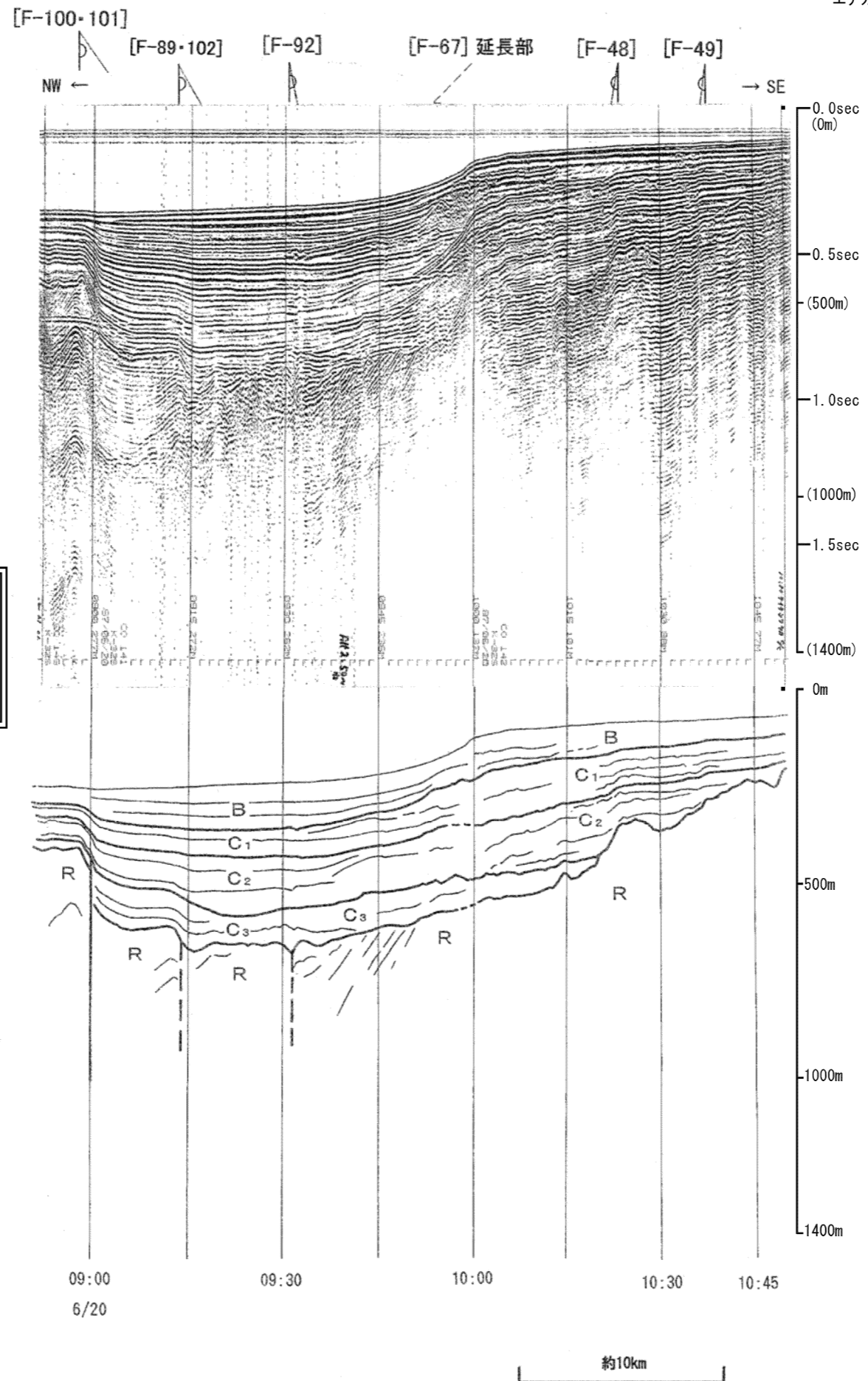


音波探査記録は、海上保安庁水路部（現海上保安庁海洋情報部）の沿岸の海の基本図「若狭湾東部」の原資料である。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

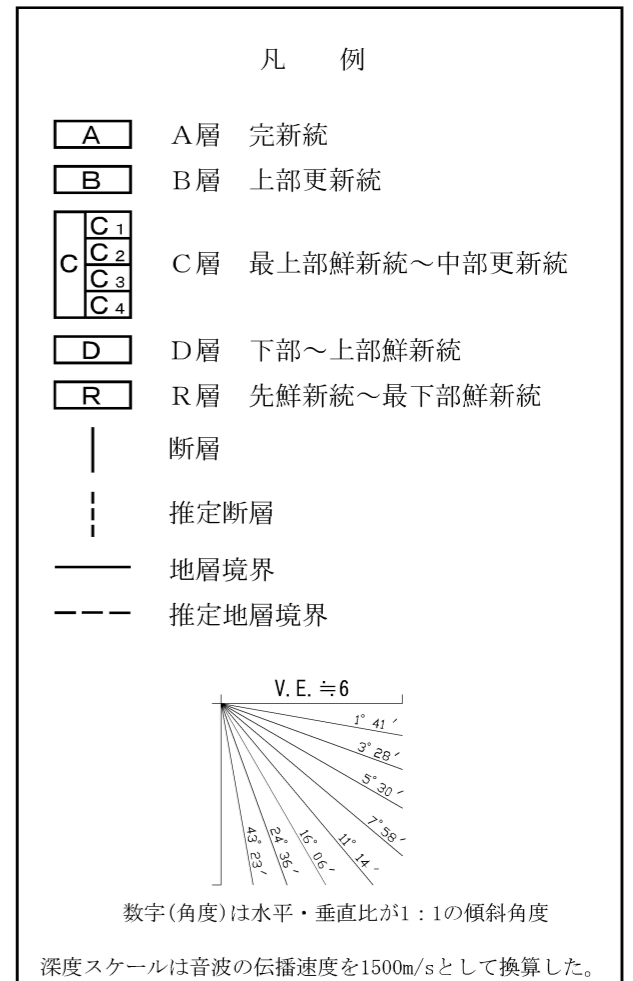
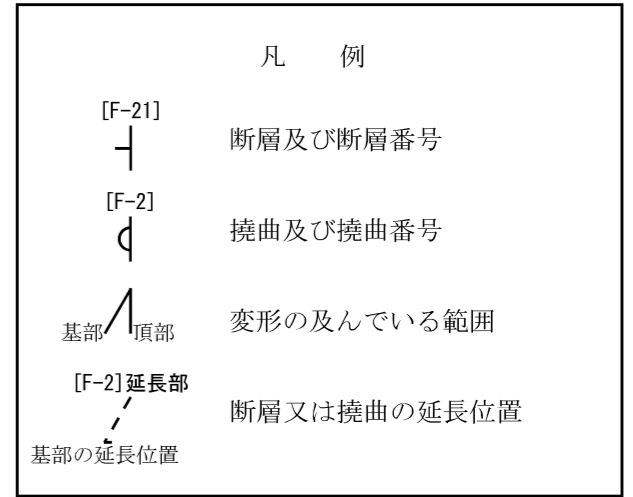
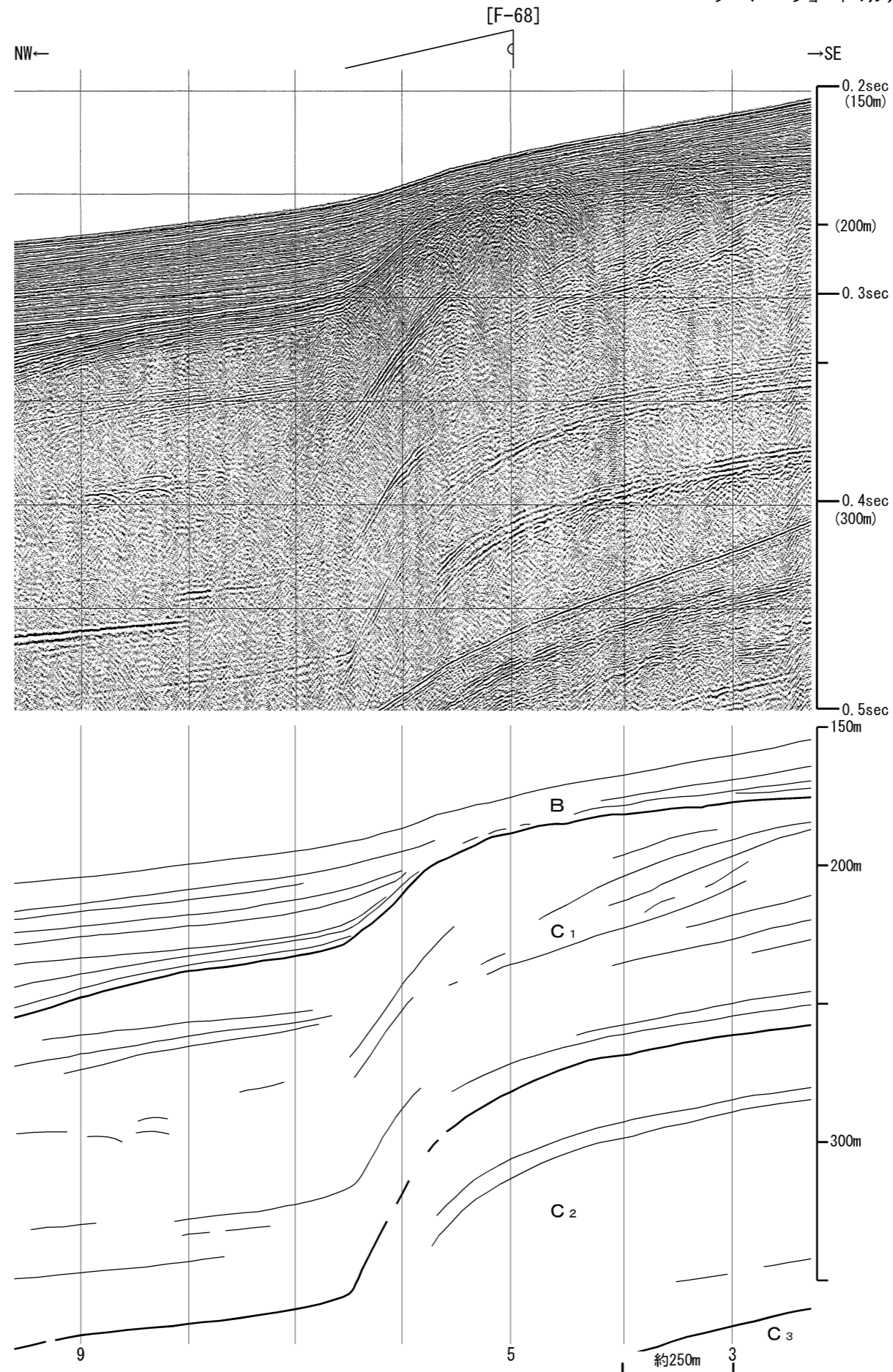


第1.2.3.1.23図(2) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.106-1,2)

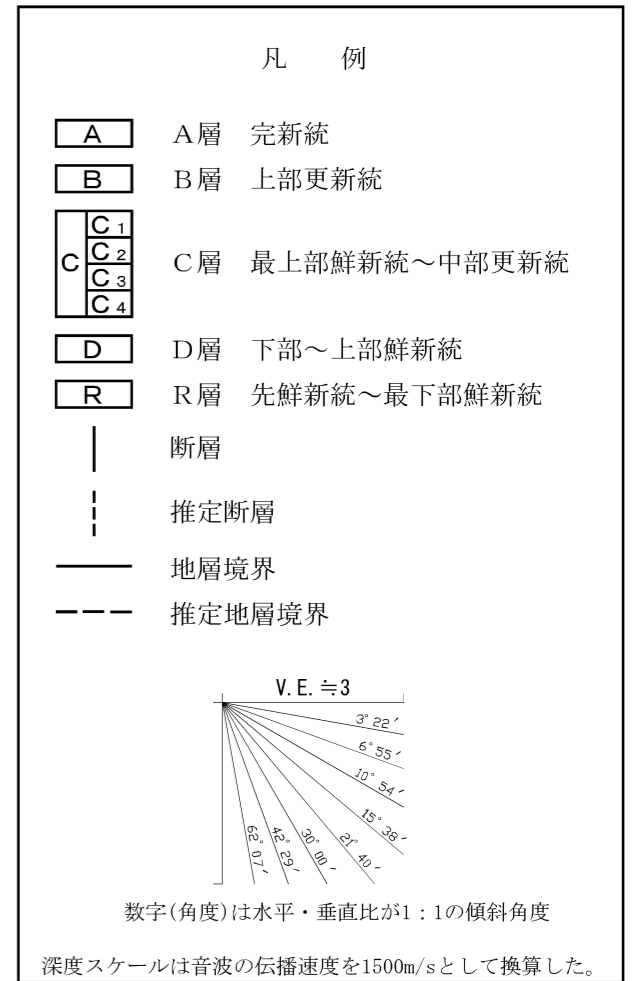
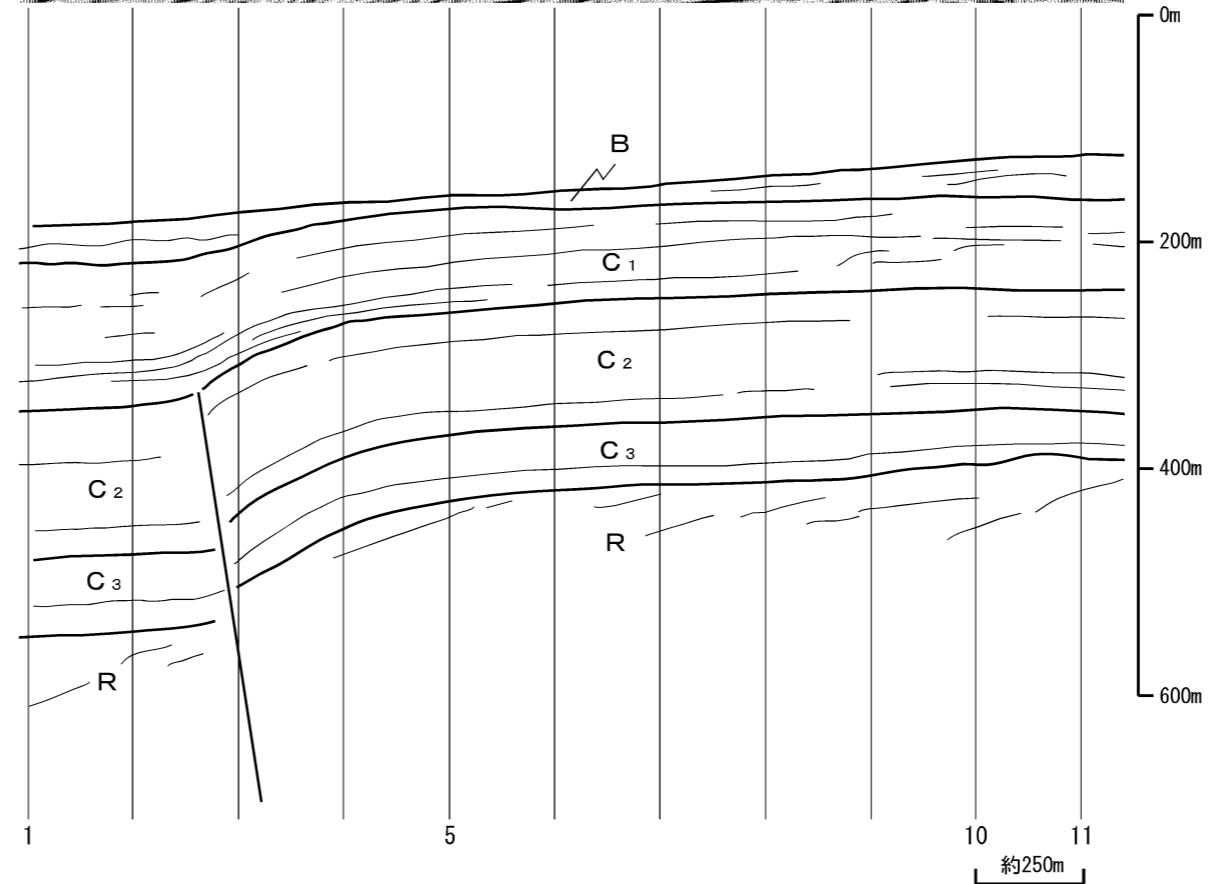
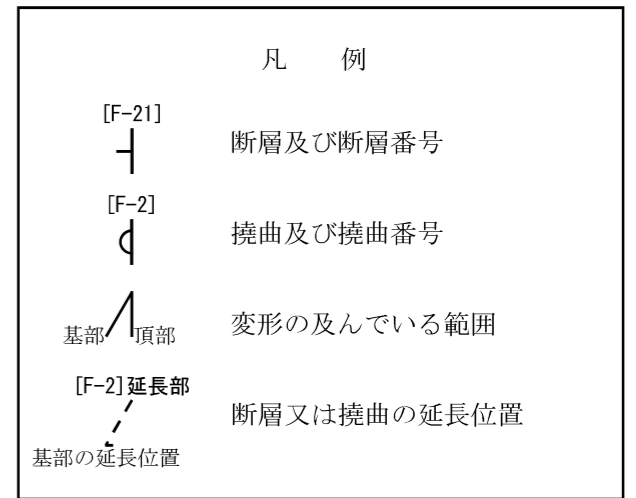
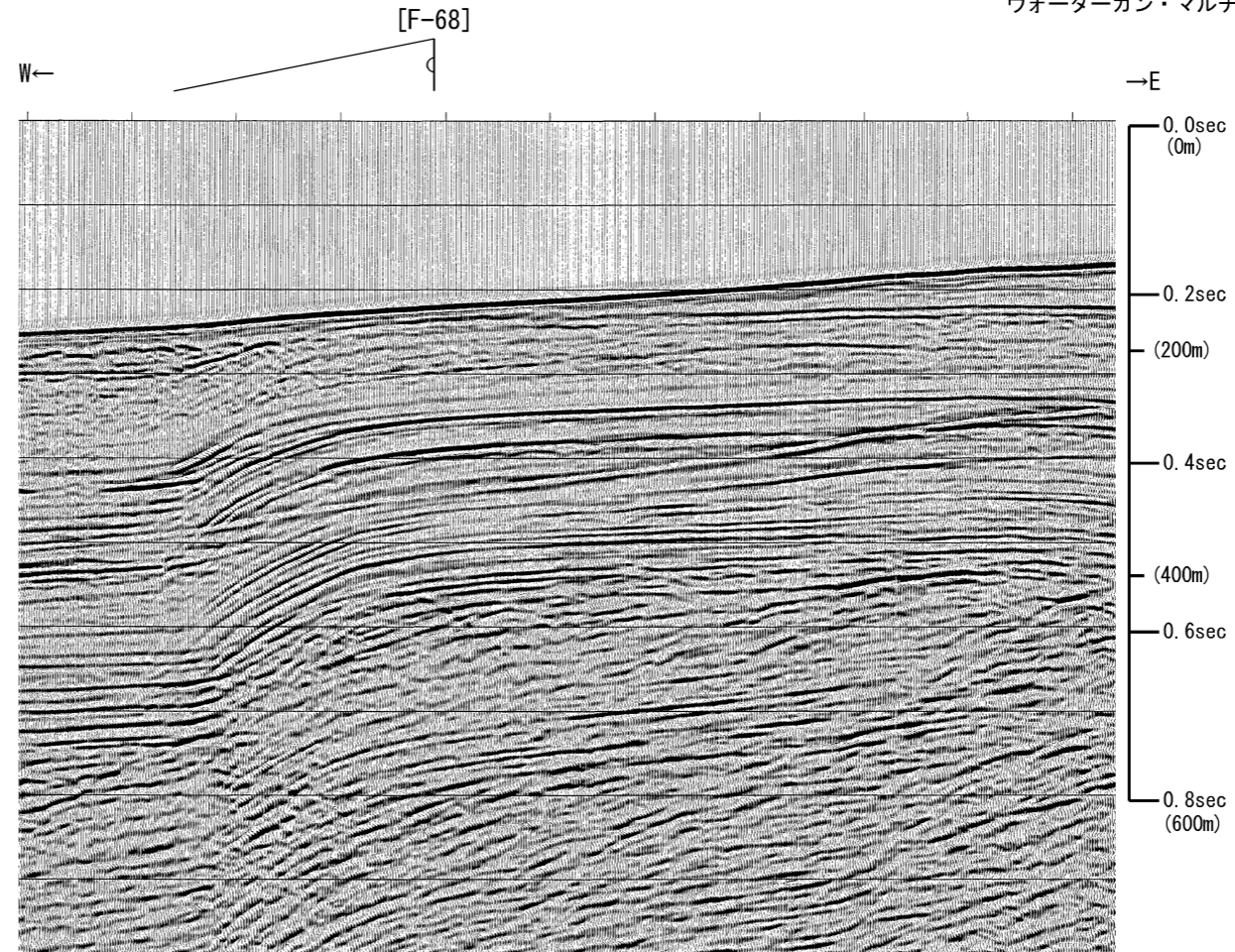
音波探査記録は、地質調査所（現産業技術総合研究所）の「ゲンタツ瀬海底地質図」の原資料である。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



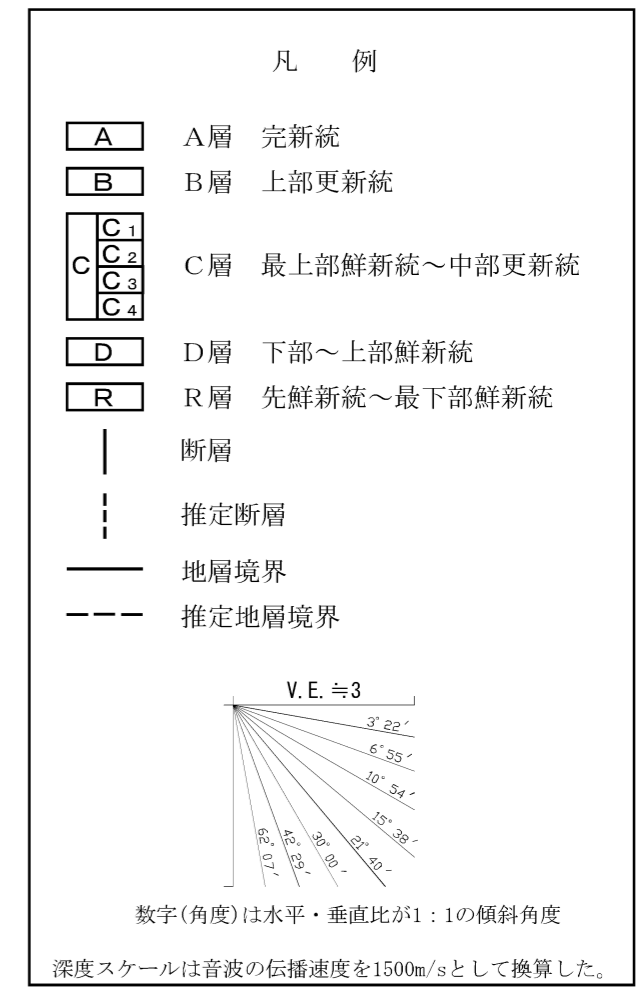
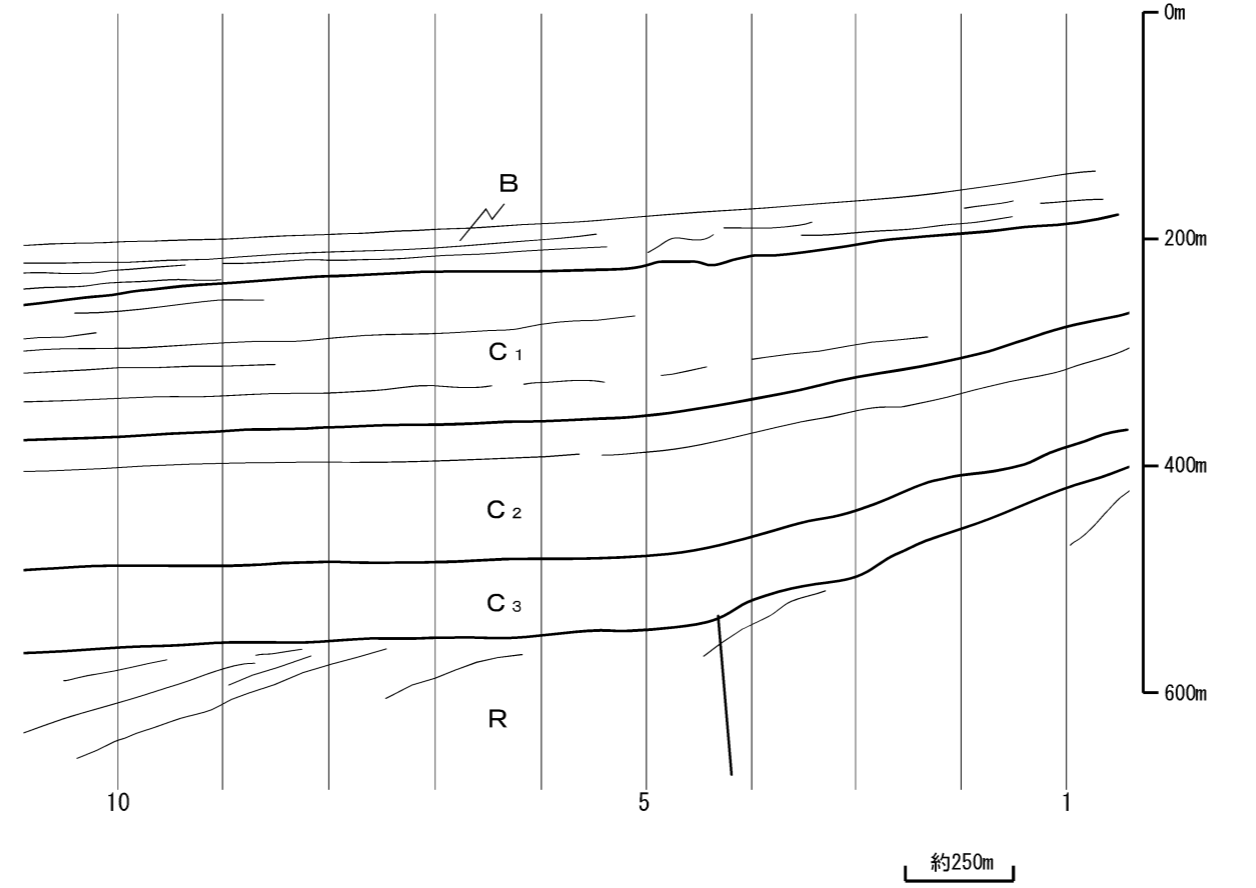
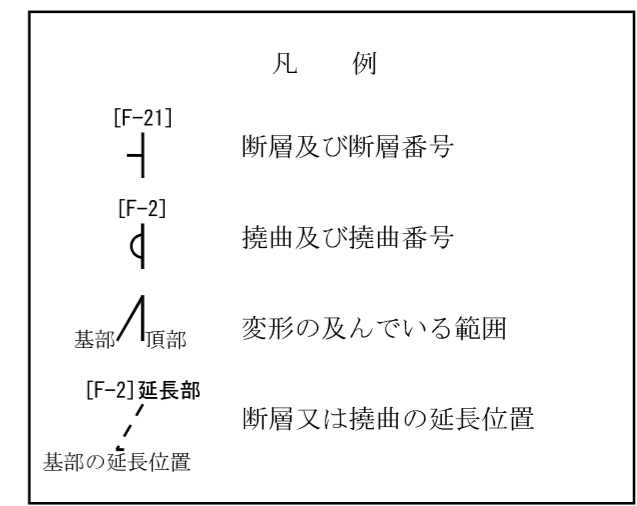
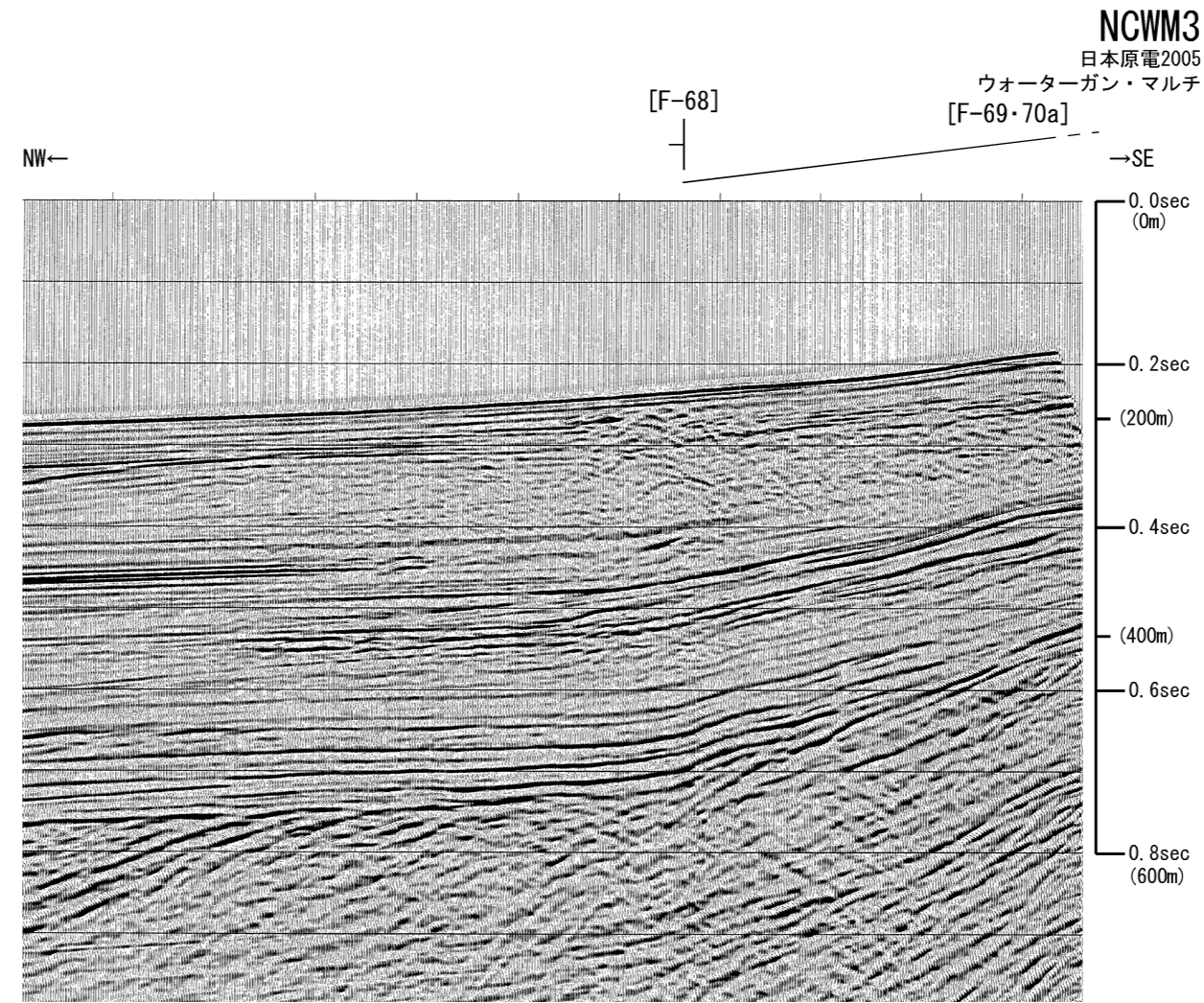
第1.2.3.1.23図(3) 野坂断層， B断層， 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (K-32)



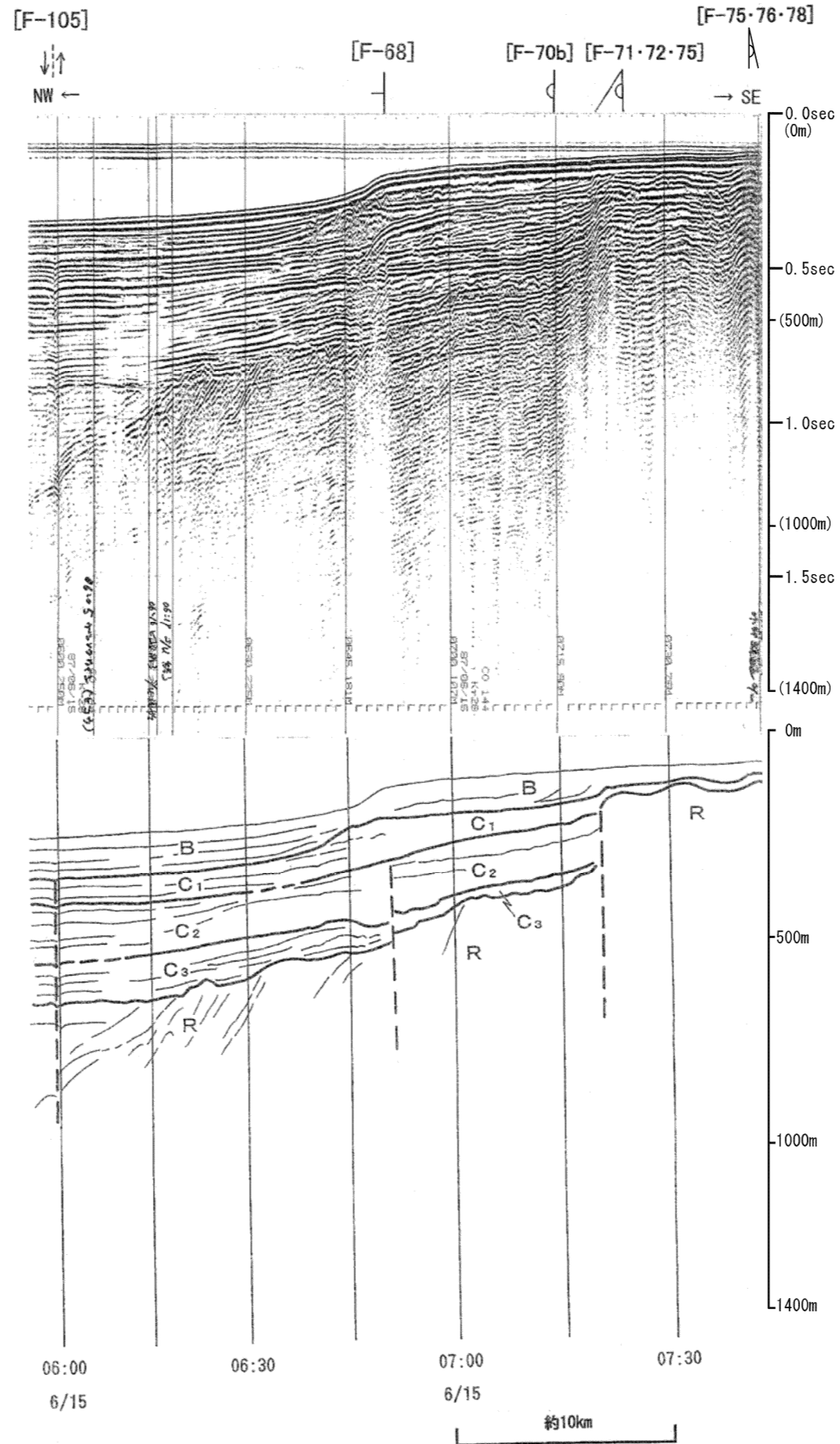
第1.2.3.1.23図(4) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NCGM2)



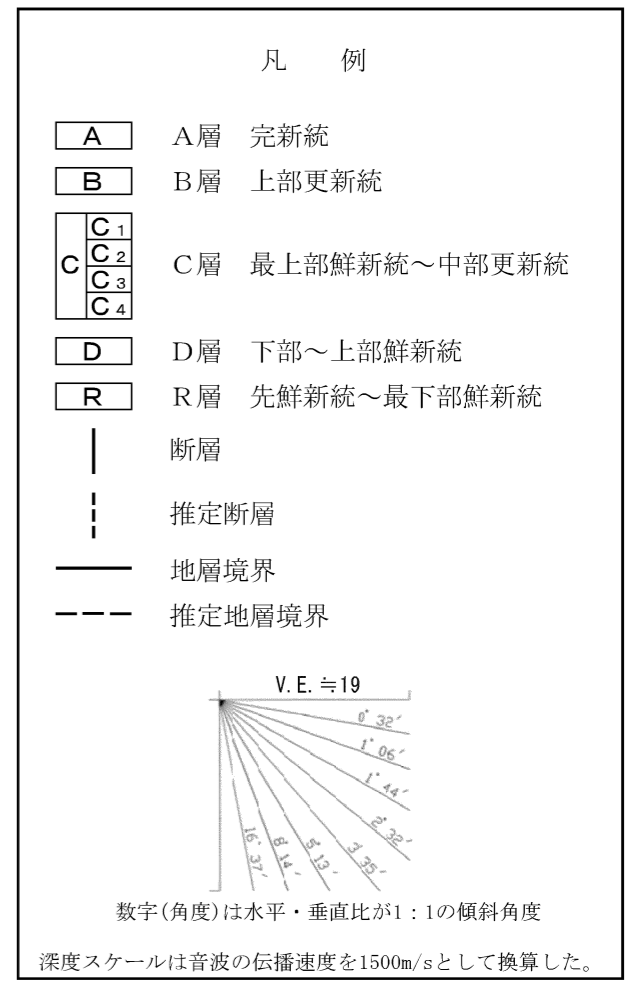
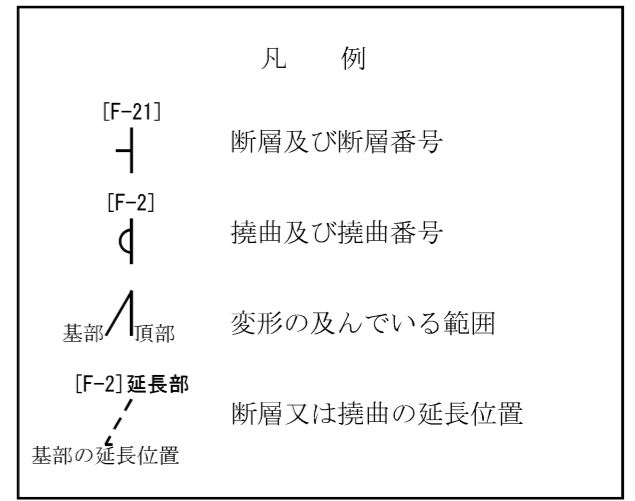
第1.2.3.1.23図(5) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NCWM4)



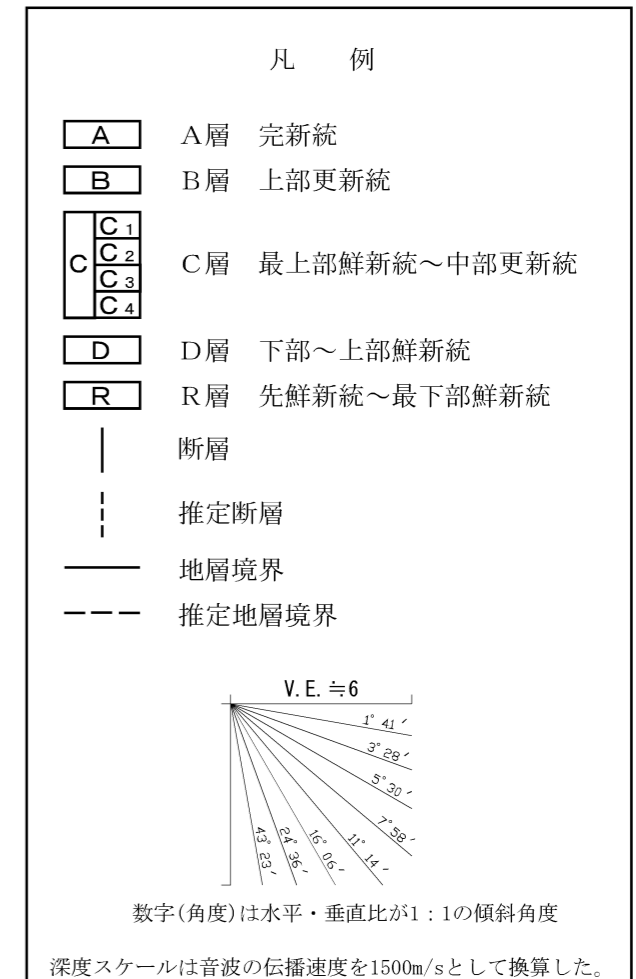
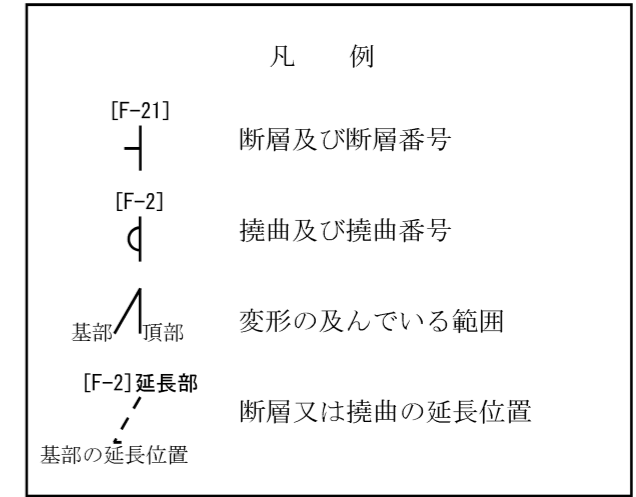
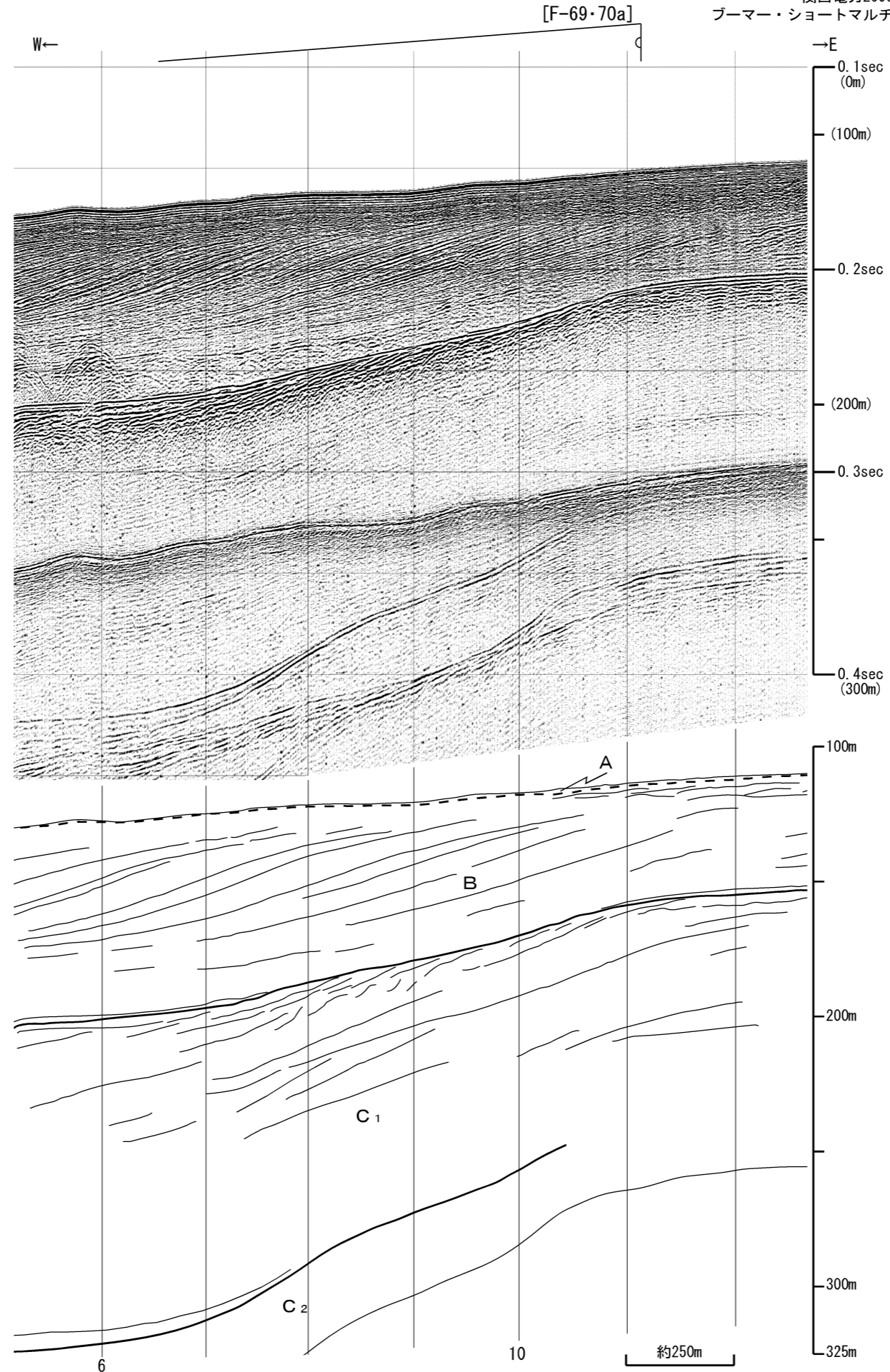
第1.2.3.1.23図(6) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NCWM3)



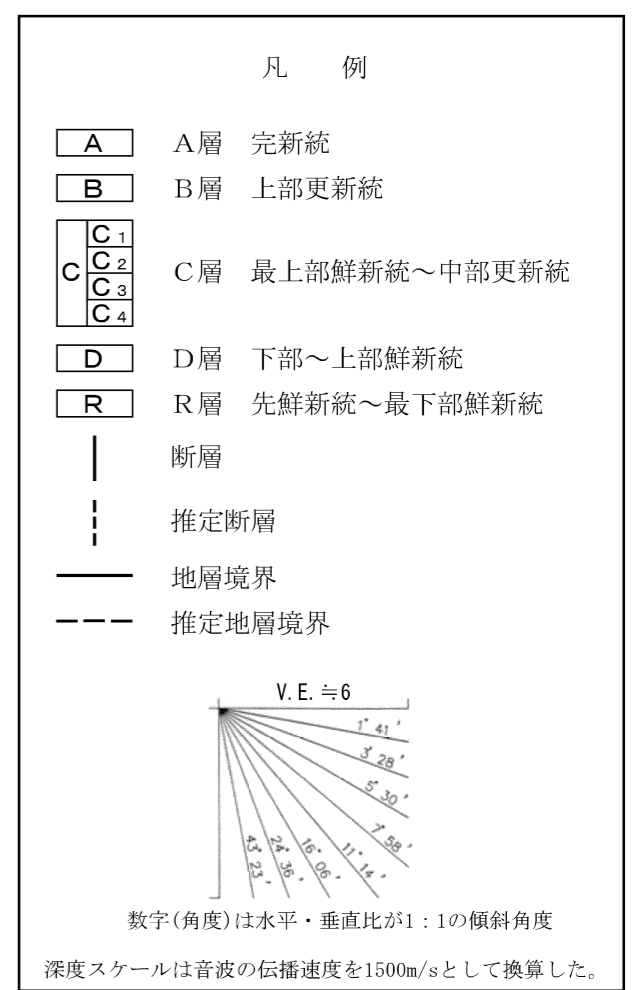
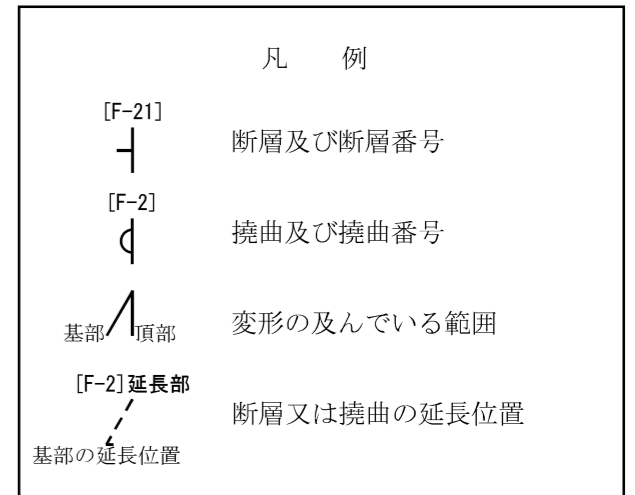
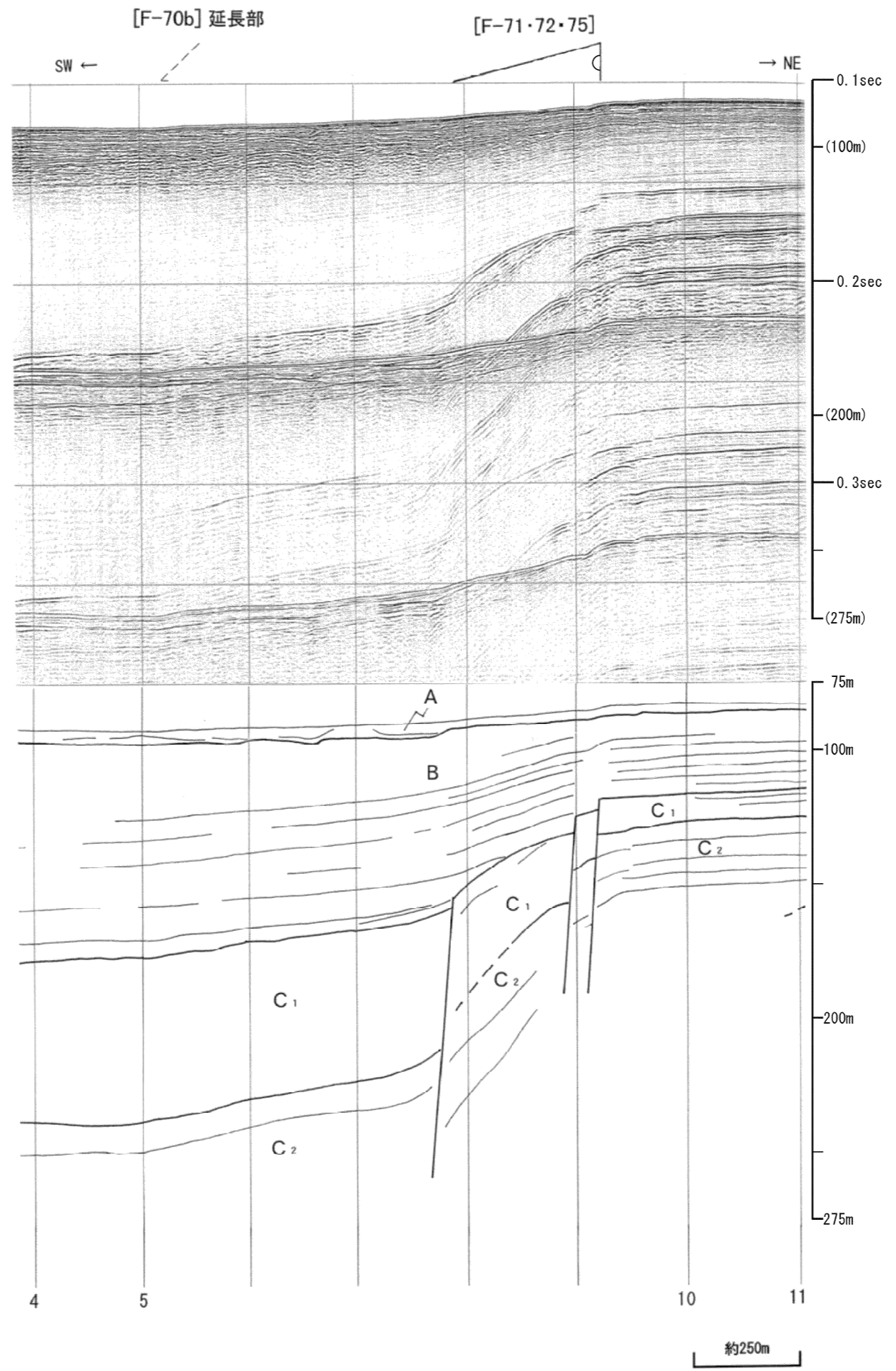
音波探査記録は、地質調査所（現産業技術総合研究所）の「ゲンタツ瀬海底地質図」の原資料である。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



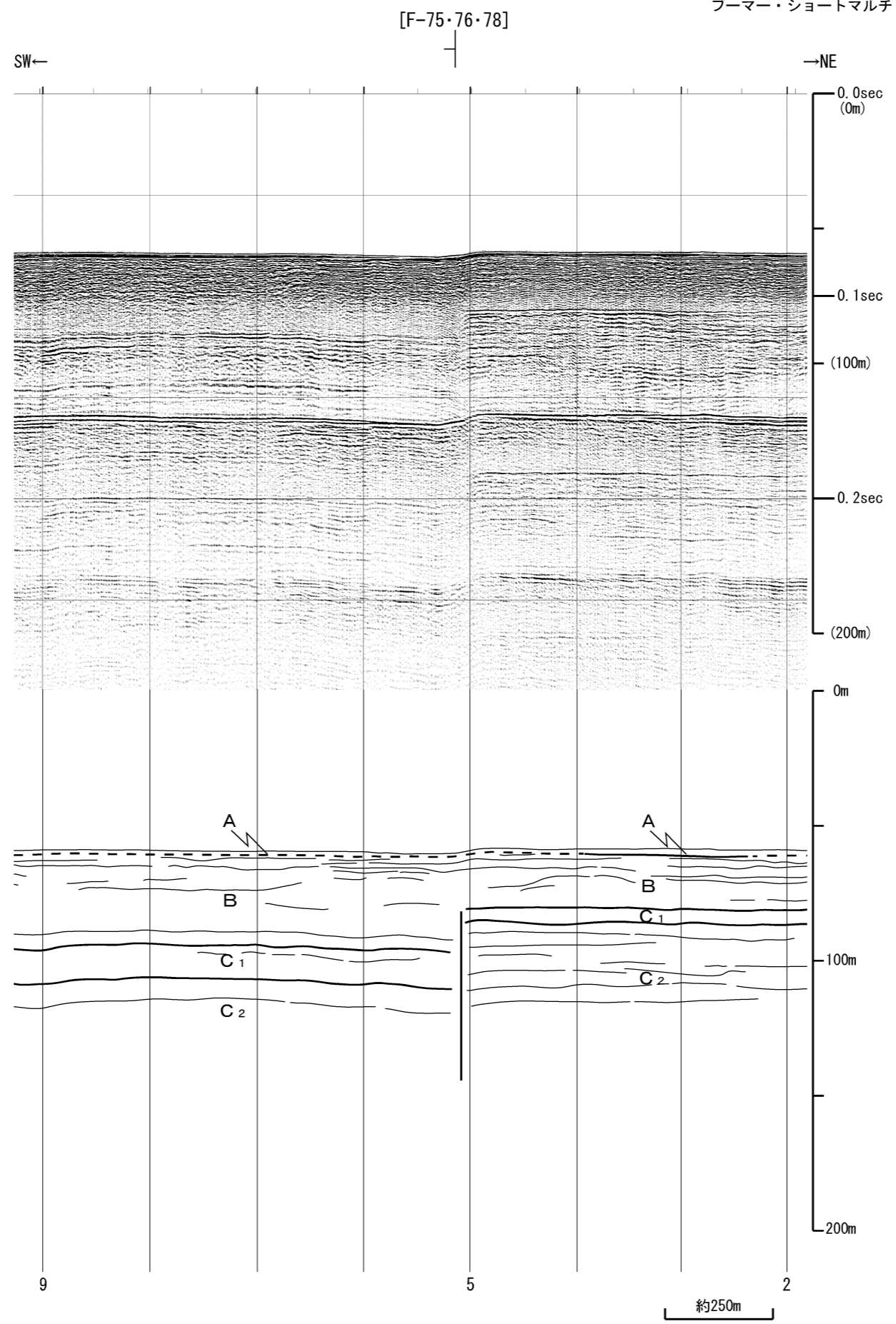
第1.2.3.1.23図(7) 野坂断層，B断層，大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (K-28)
1.2.3-147



第1.2.3.1.23図(8) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.26-2G)



第1.2.3.1.23図(9) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NXGM2-4)



凡 例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置

基部の延長位置

凡 例

A層 完新統

B層 上部更新統

C層 最上部鮮新統～中部更新統

D層 下部～上部鮮新統

R層 先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

V. E. ≒ 6

1° 41'

3° 28'

5° 30'

7° 58'

11° 14'

16° 05'

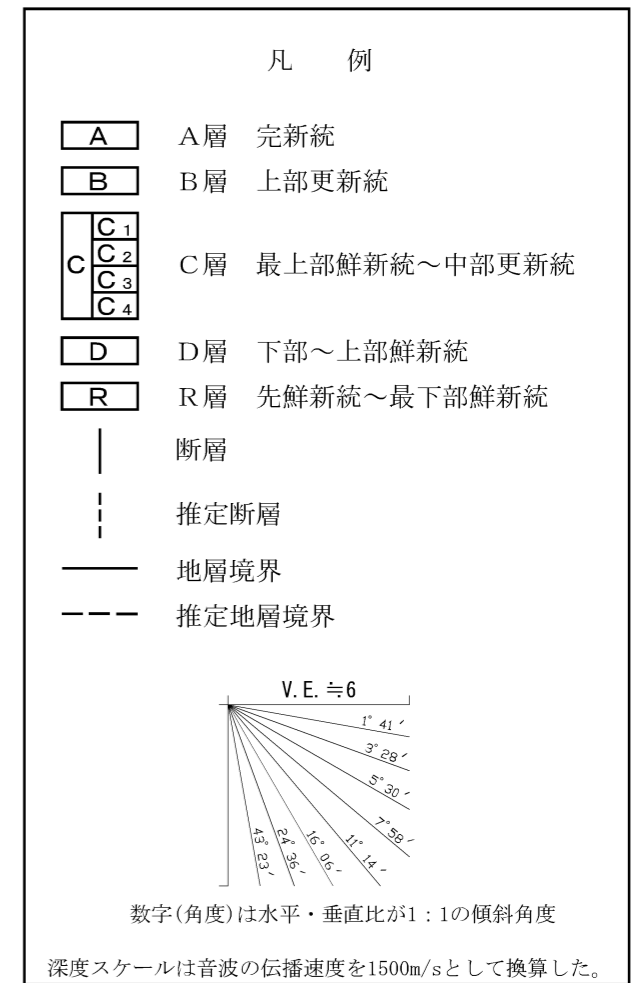
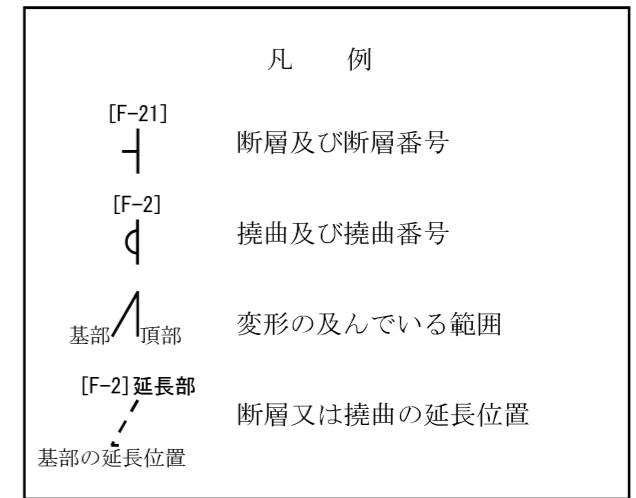
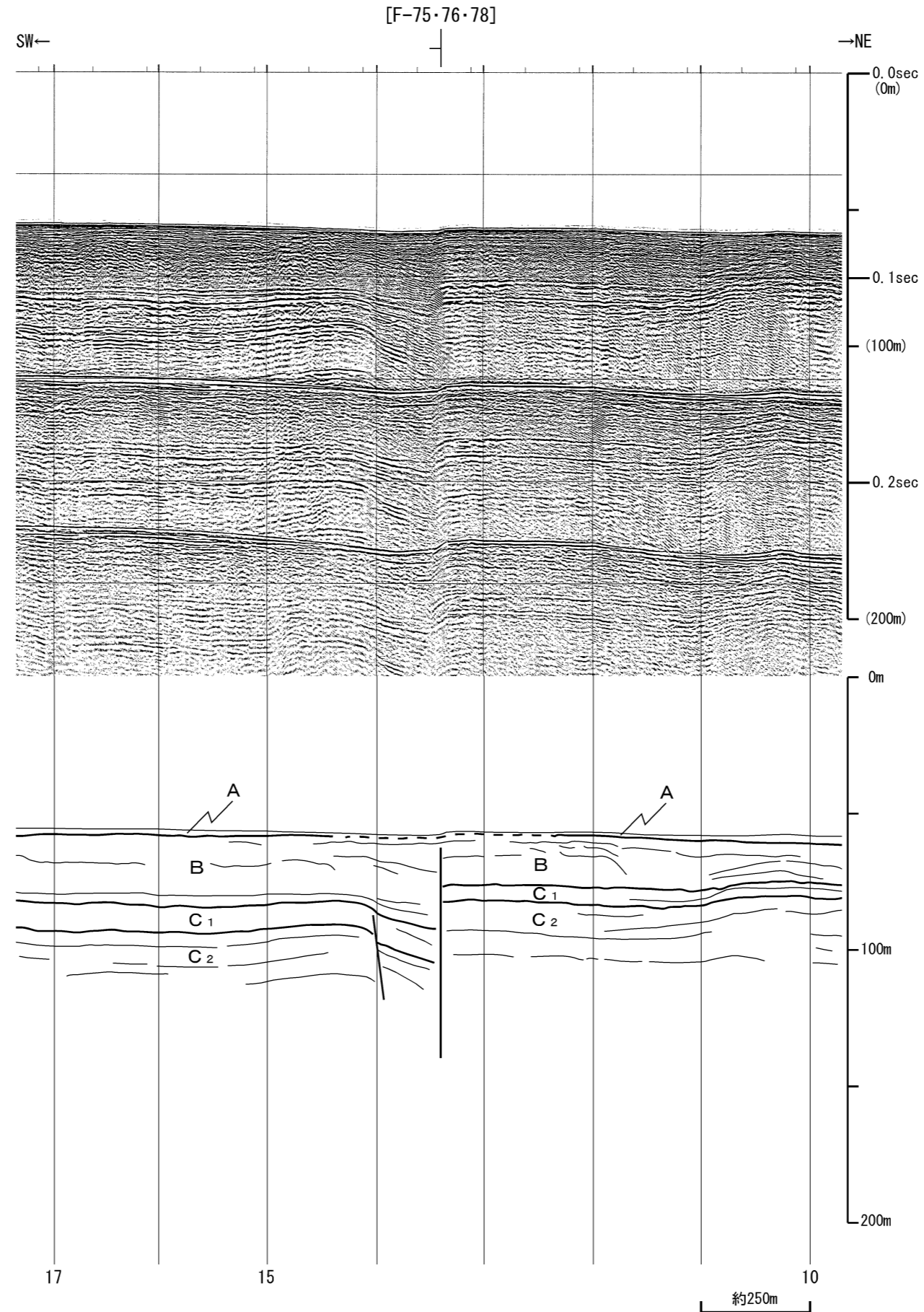
24° 36'

43° 23'

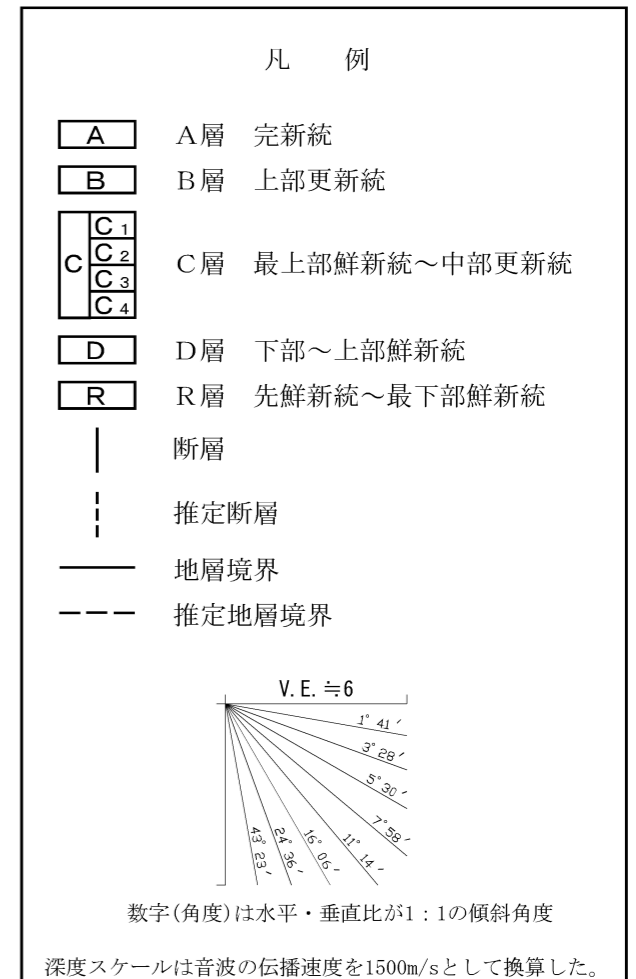
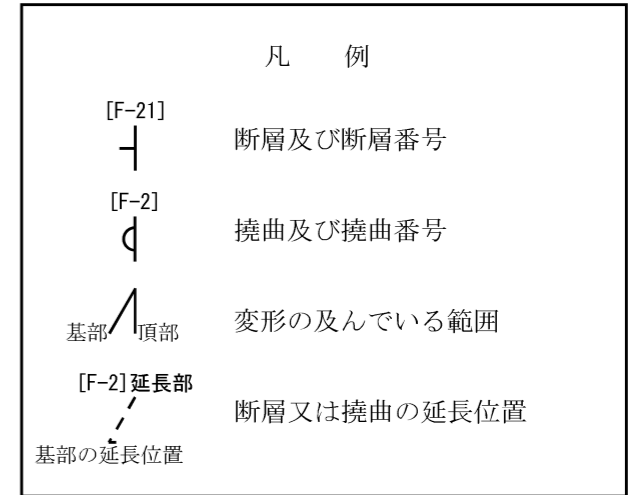
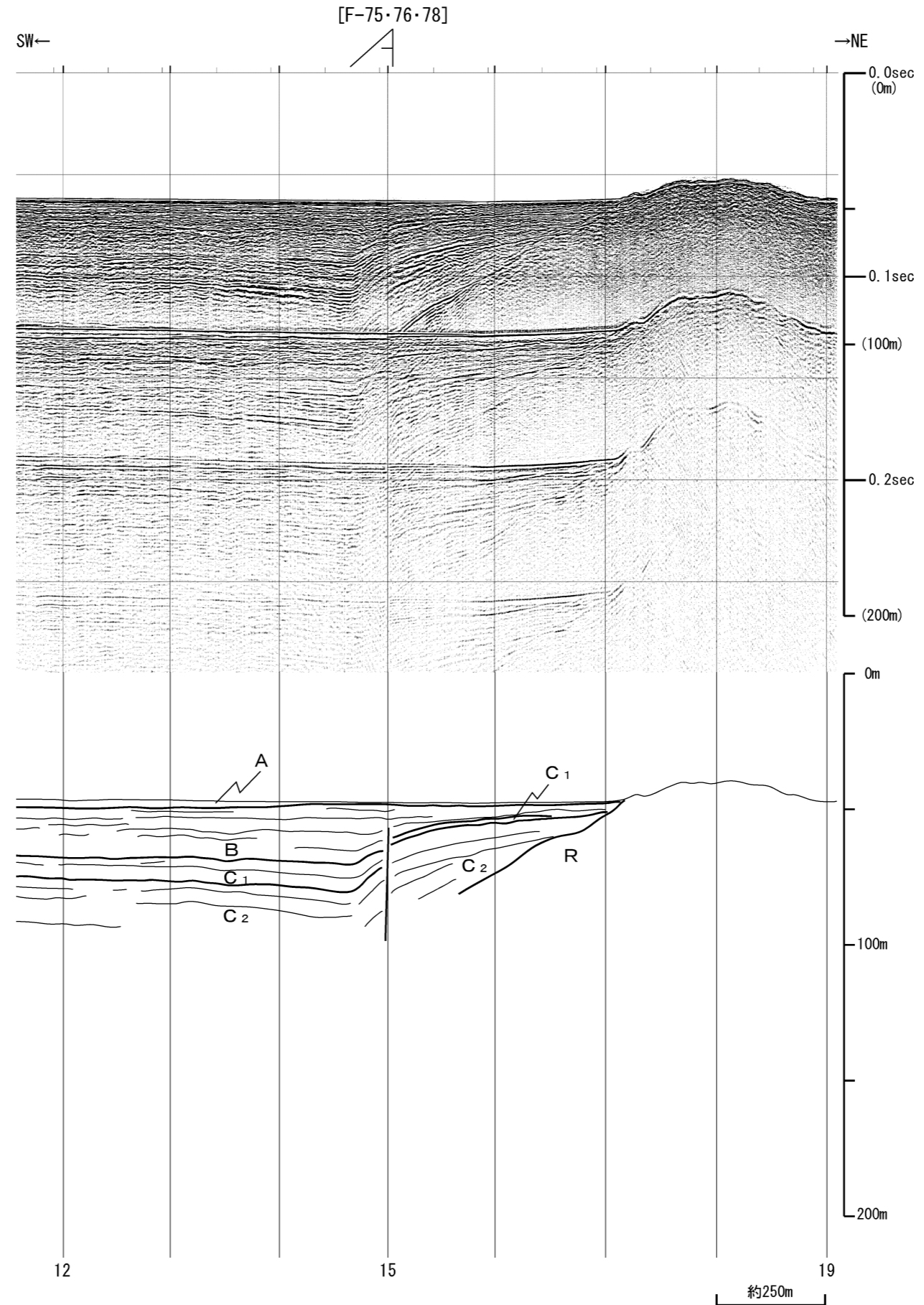
数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

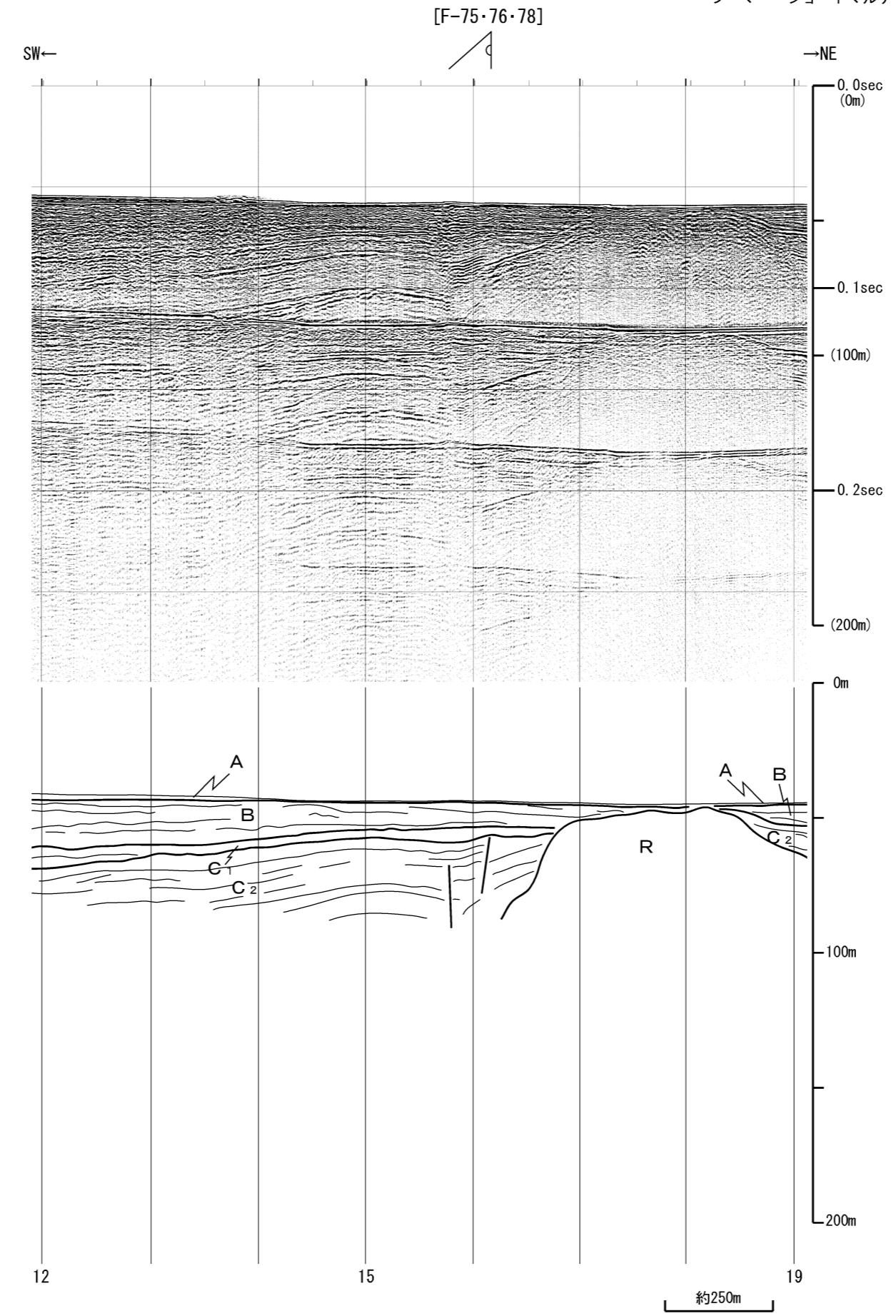
第1.2.3.1.23図(10) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (N-1G)



第1.2.3.1.23図(11) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NDGM8)



第1.2.3.1.23図(12) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (N-9G)



凡 例

- [F-21] 断層及び断層番号
- [F-2] 撓曲及び撓曲番号
- 基部 頂部 変形の及んでいる範囲
- [F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
- 基部の延長位置

凡 例

- A層 完新統
- B層 上部更新統
- C層 最上部鮮新統～中部更新統
 - C₁
 - C₂
 - C₃
 - C₄
- D層 下部～上部鮮新統
- R層 先鮮新統～最下部鮮新統
- 断層
- 推定断層
- 地層境界
- 推定地層境界

V. E. ≒ 6

1° 41'

3° 28'

5° 30'

7° 58'

11° 14'

16° 06'

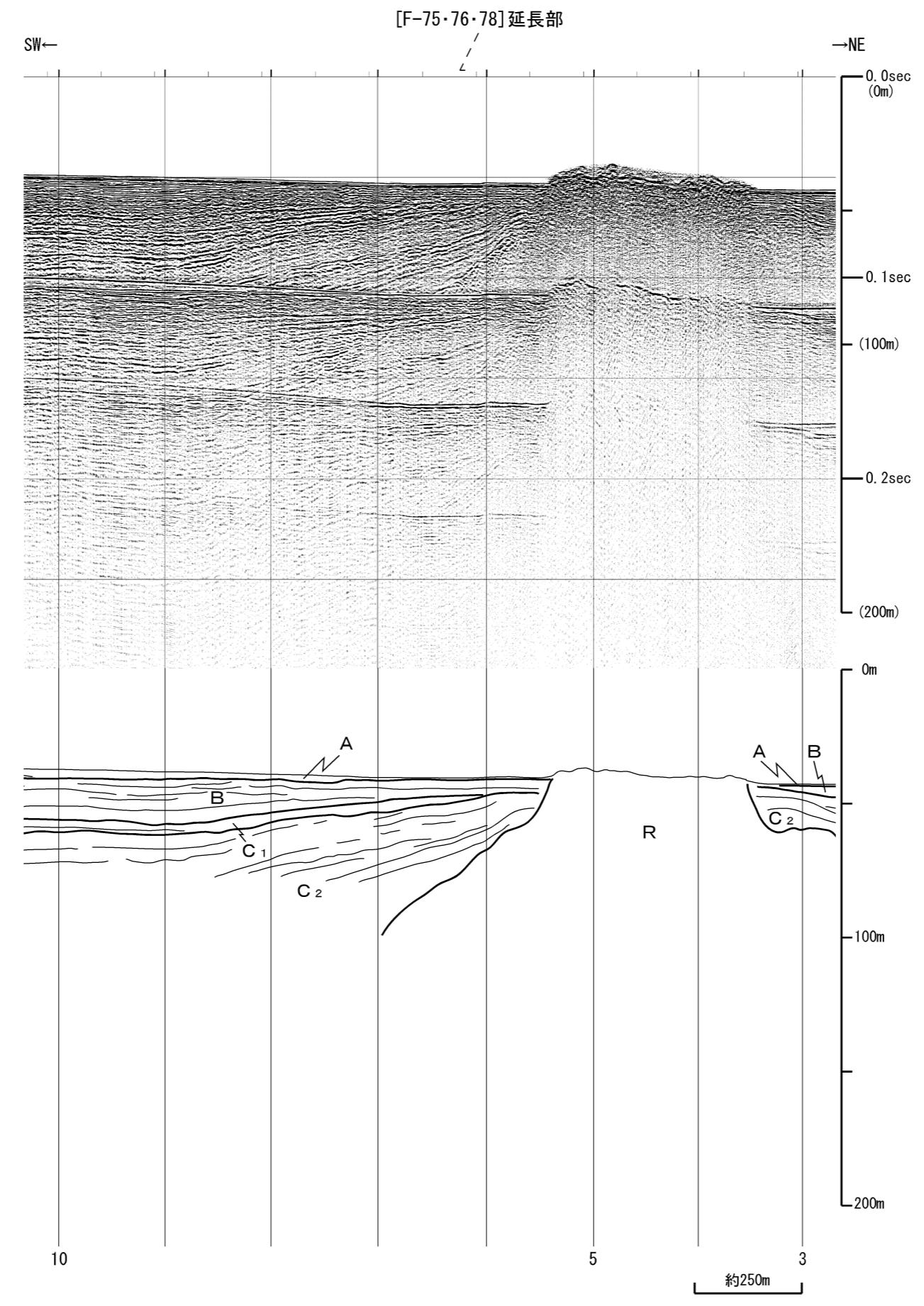
24° 36'

43° 23'

数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.23図(13) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (N・10G)



凡 例

- [F-21] 断層及び断層番号
- [F-2] 撓曲及び撓曲番号
- 基部 頂部 変形の及んでいる範囲
- [F-2] 延長部 断層又は撓曲の延長位置
- 基部の延長位置

凡 例

- A層 完新統
- B層 上部更新統
- C層 最上部鮮新統～中部更新統
 - C₁
 - C₂
 - C₃
 - C₄
- D層 下部～上部鮮新統
- R層 先鮮新統～最下部鮮新統
- 断層
- 推定断層
- 地層境界
- 推定地層境界

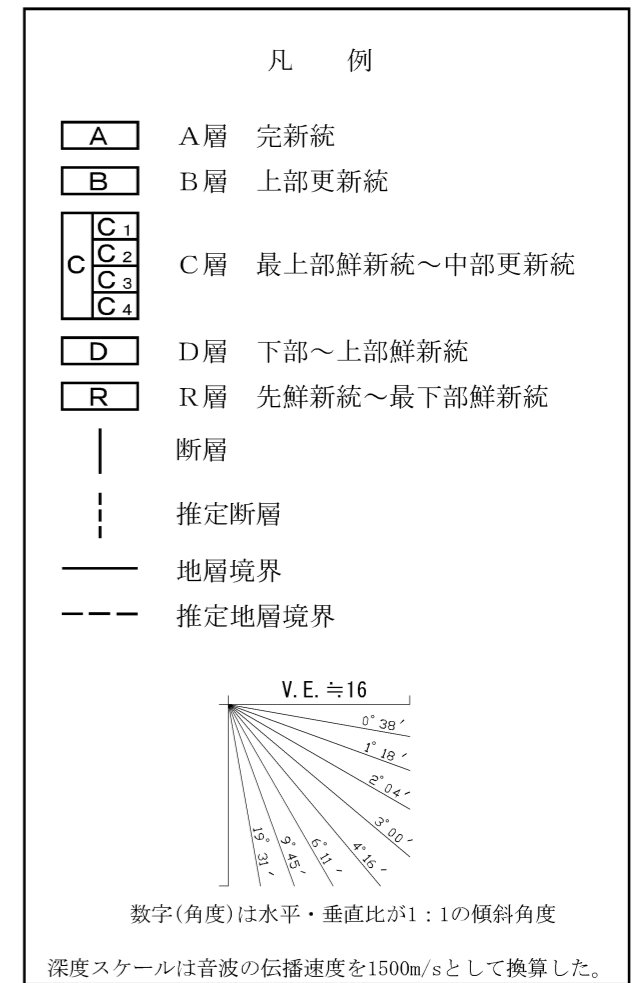
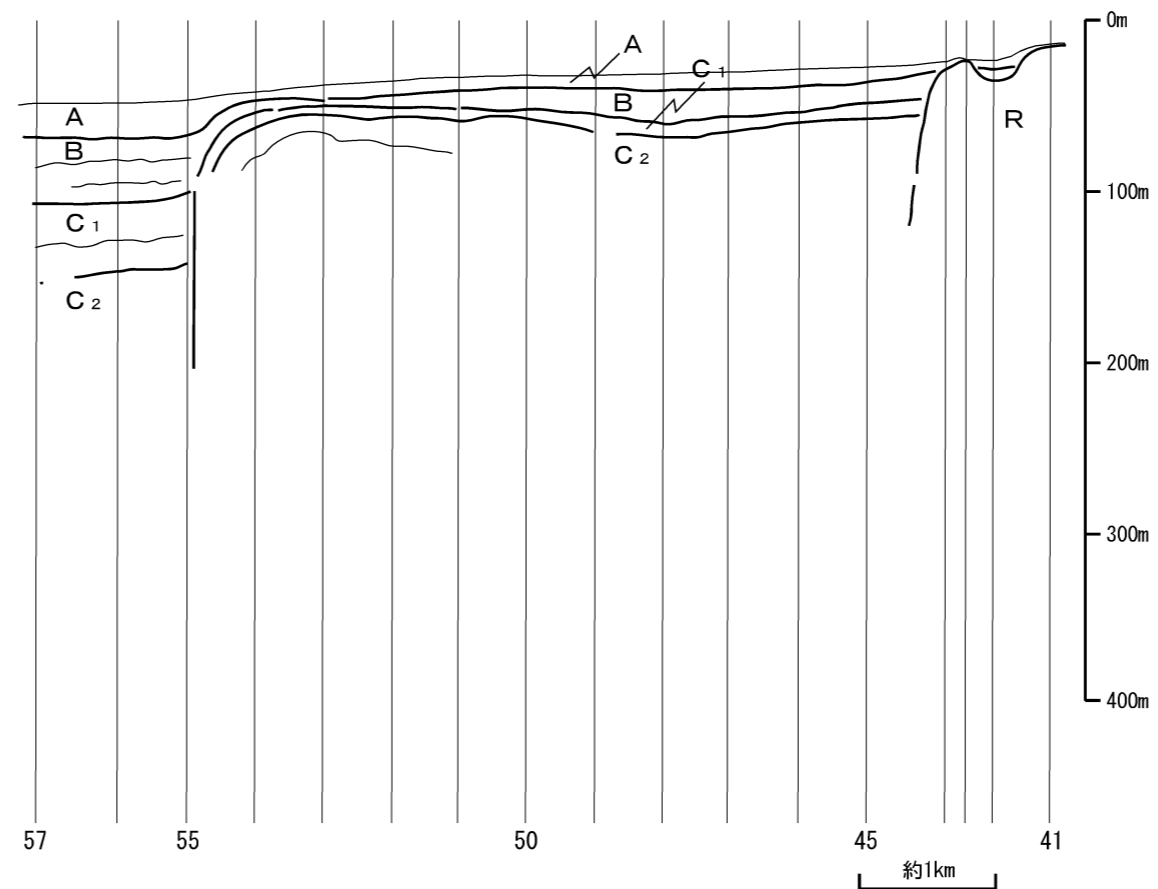
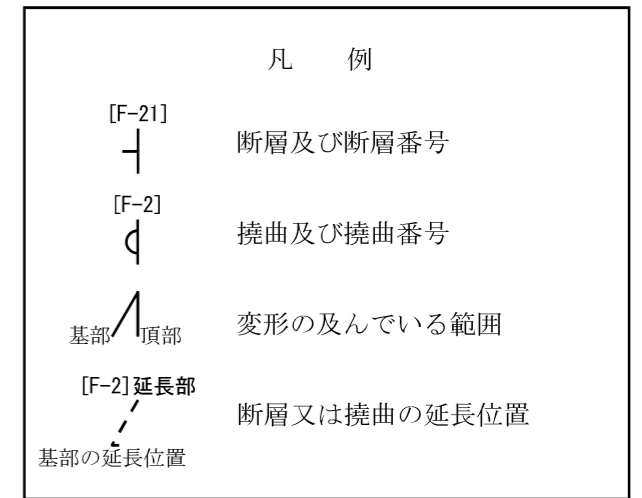
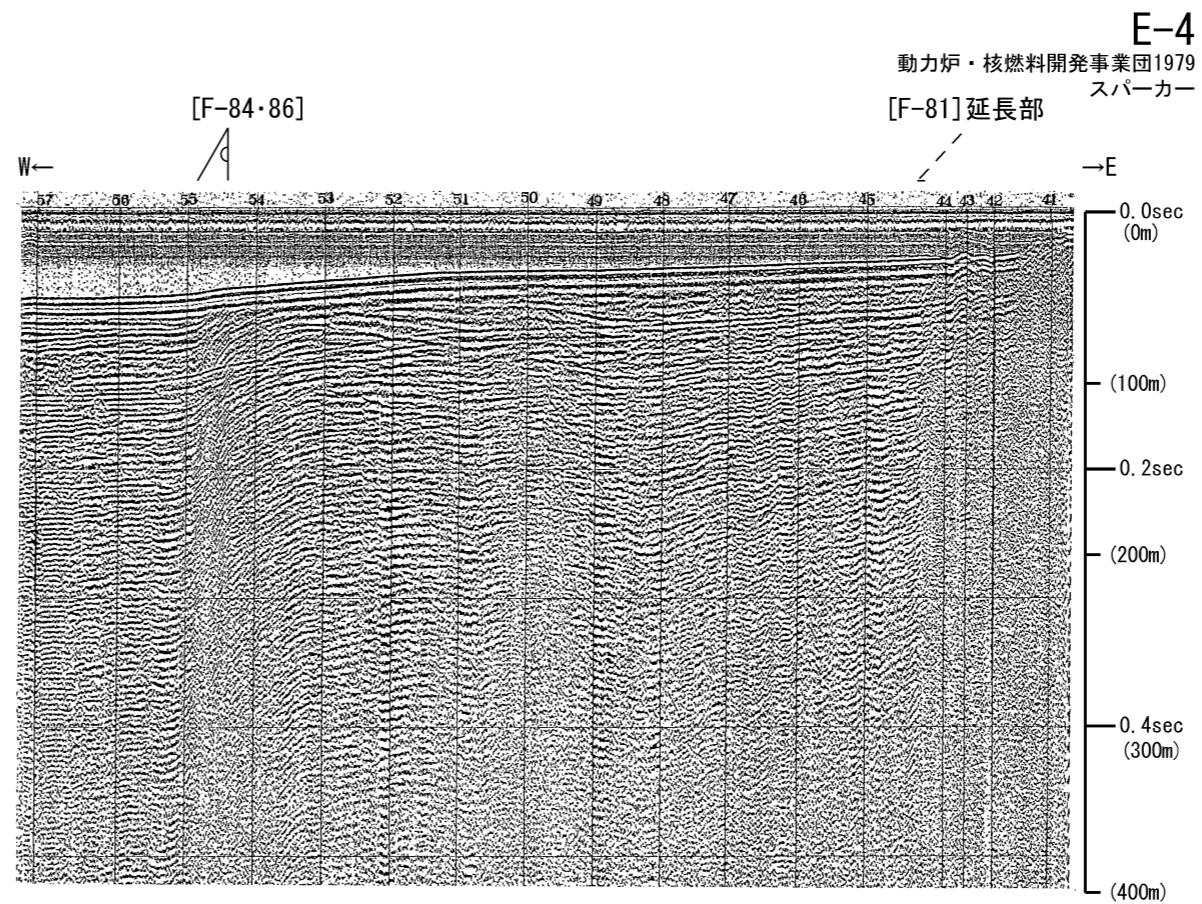
V. E. ≒ 6

傾斜角度: 1° 41', 3° 28', 5° 30', 7° 58', 11° 14', 16° 05', 24° 36', 43° 23'

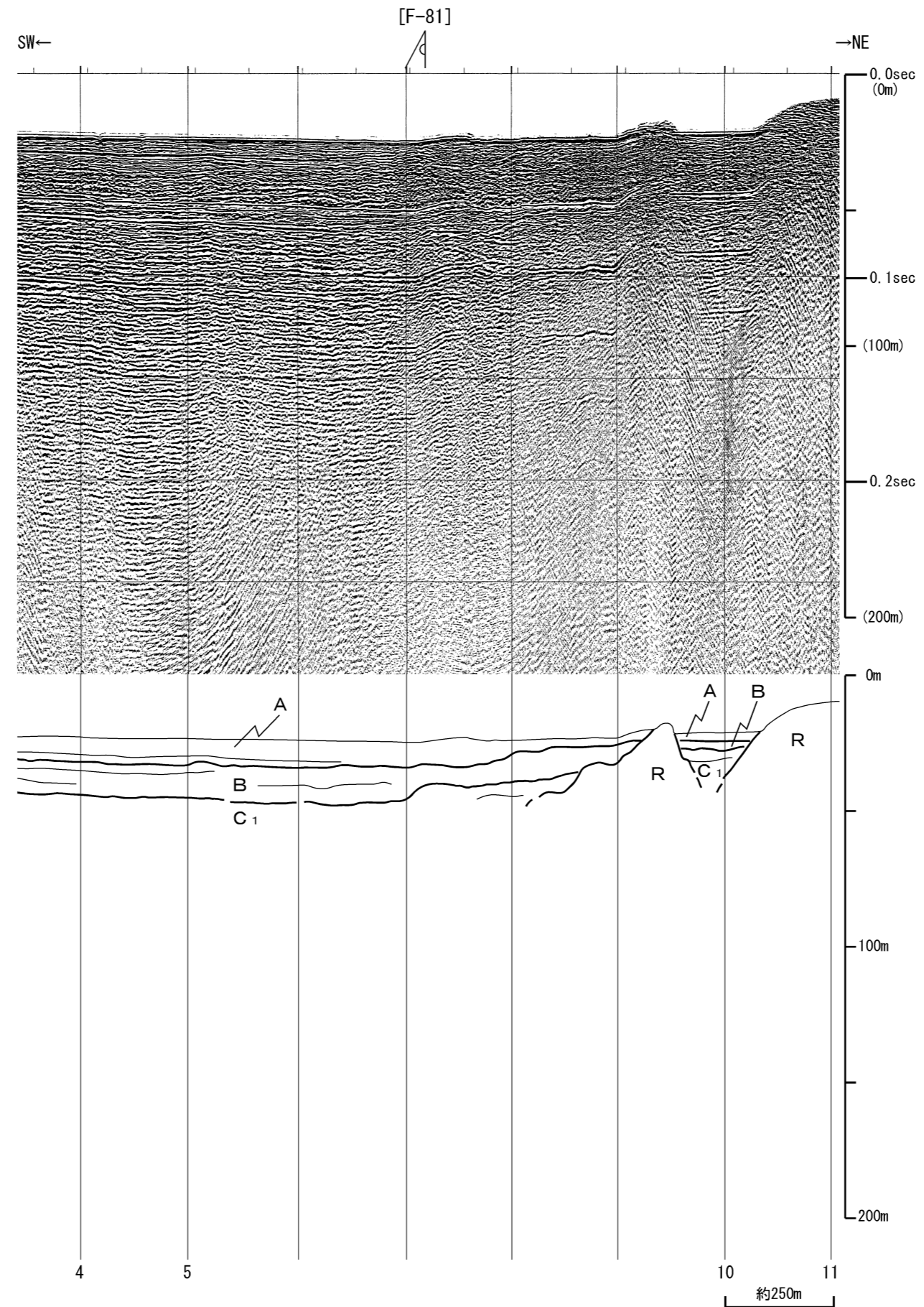
数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.23図(14) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (N-11G)



第1.2.3.1.23図(15) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (E-4)



凡 例

- [F-21] 断層及び断層番号
- [F-2] 撓曲及び撓曲番号
- 基部 頂部 変形の及んでいる範囲
- [F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
- 基部の延長位置

凡 例

- A層 完新統
- B層 上部更新統
- C層 最上部鮮新統～中部更新統
 - C₁
 - C₂
 - C₃
 - C₄
- D層 下部～上部鮮新統
- R層 先鮮新統～最下部鮮新統
- 断層
- 推定断層
- 地層境界
- 推定地層境界

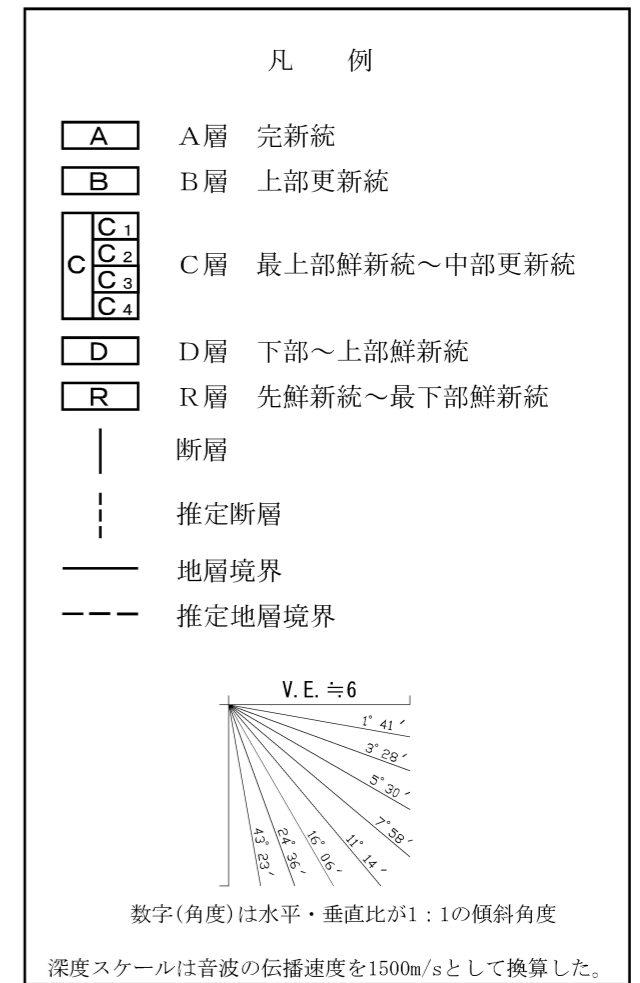
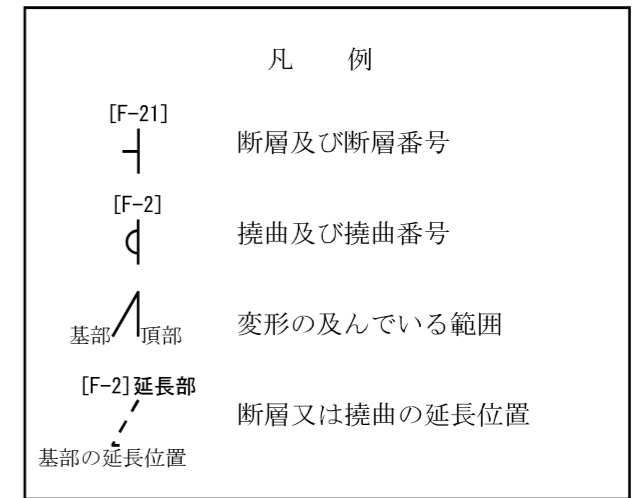
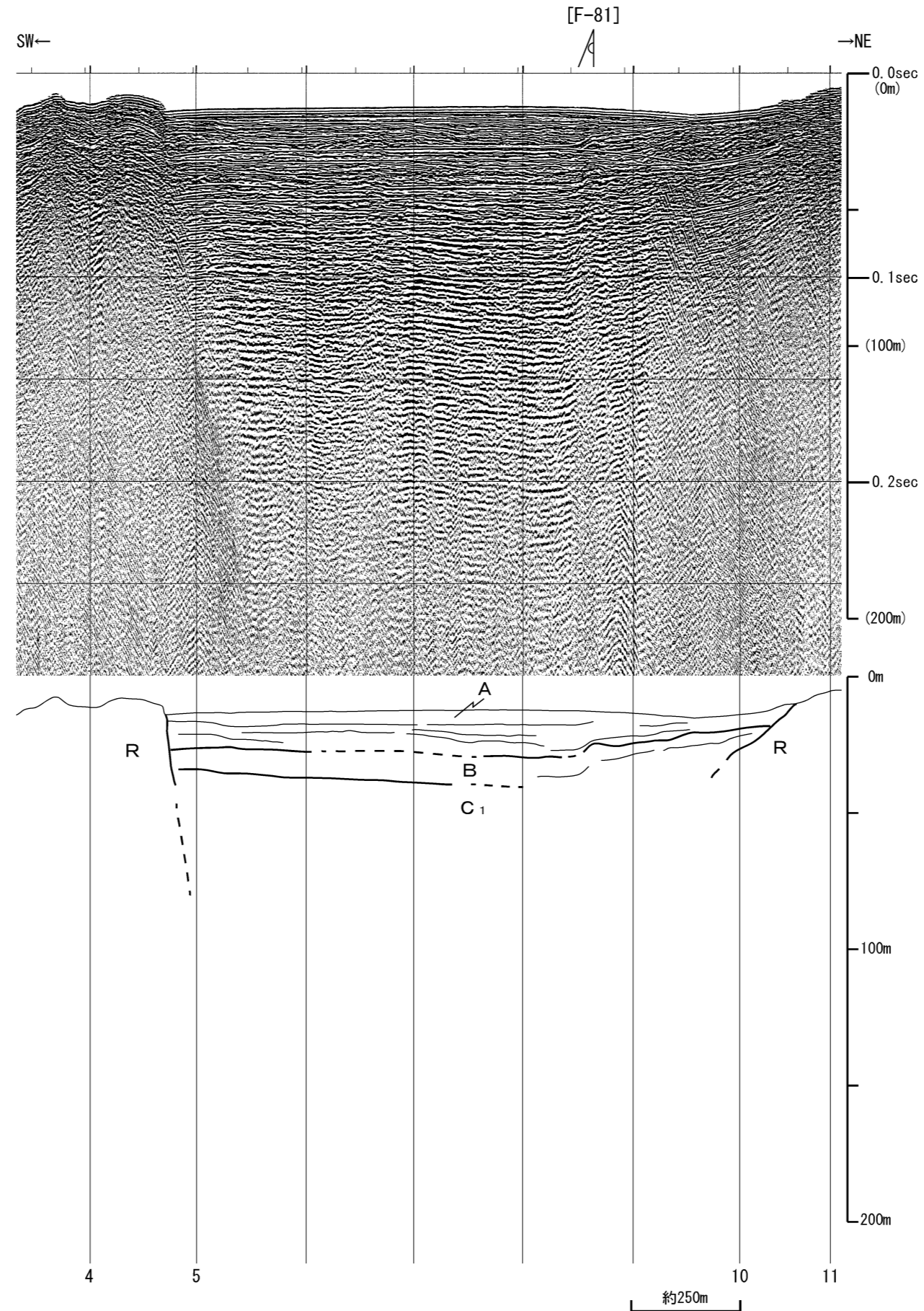
V. E. ≒ 6

傾斜角度: 1° 41', 3° 28', 5° 30', 7° 38', 11° 14', 16° 06', 22° 36', 43° 23'

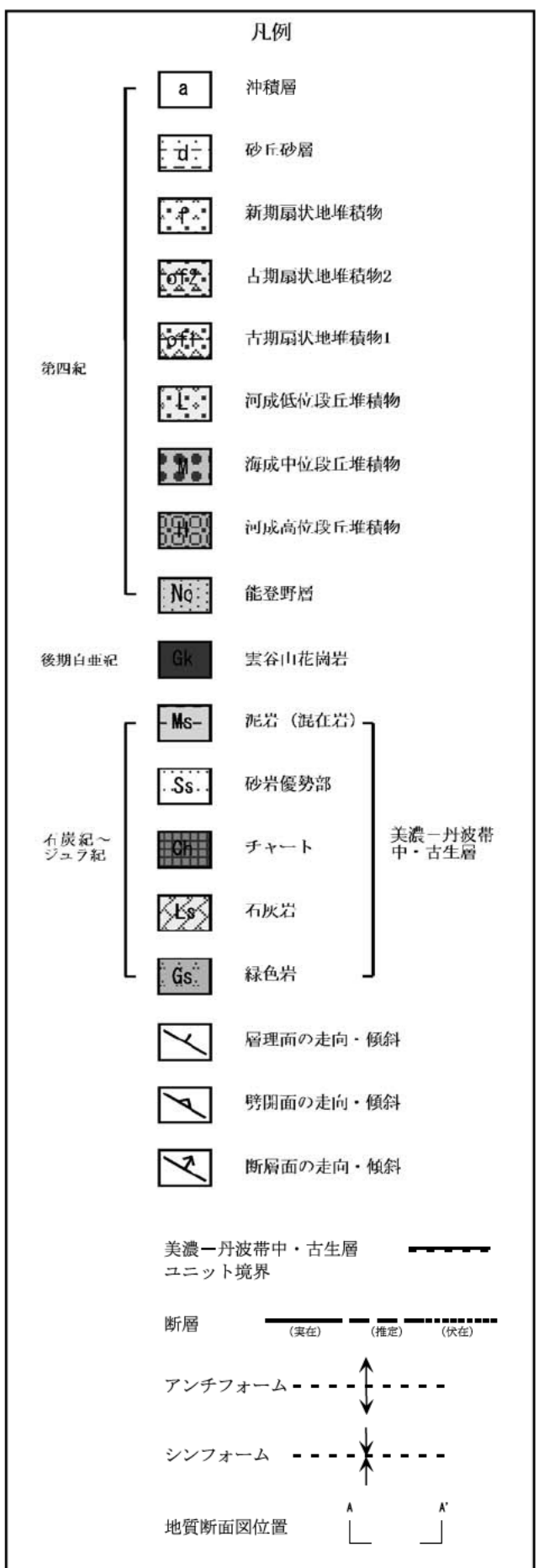
数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

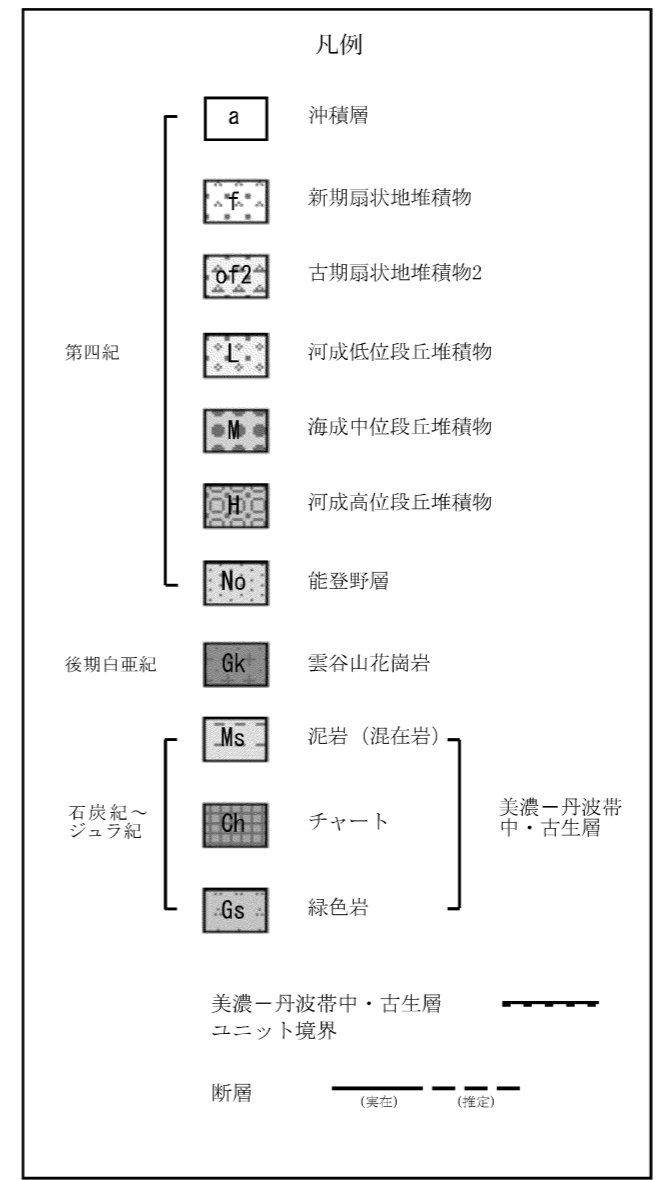
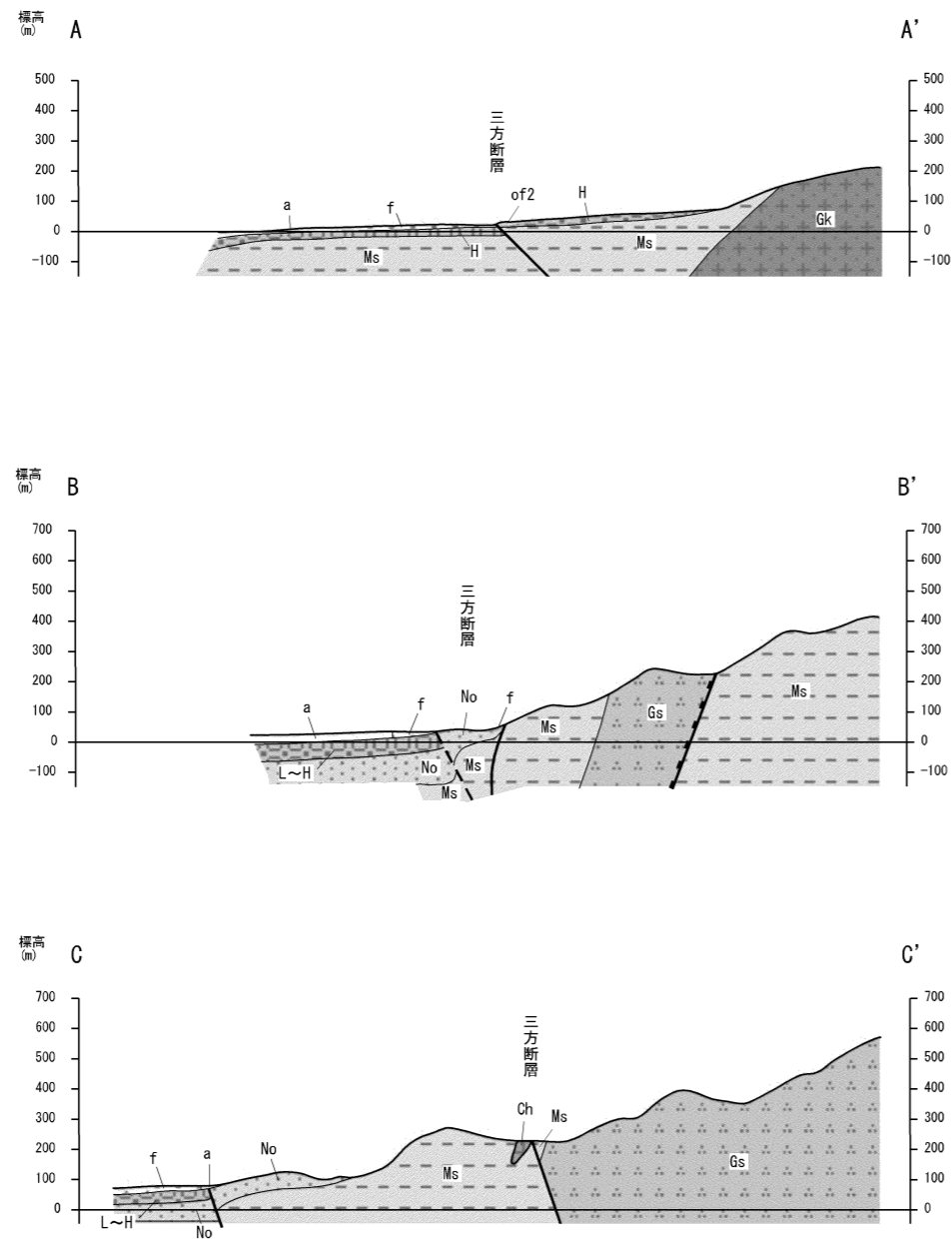
第1.2.3.1.23図(16) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NDGM13)



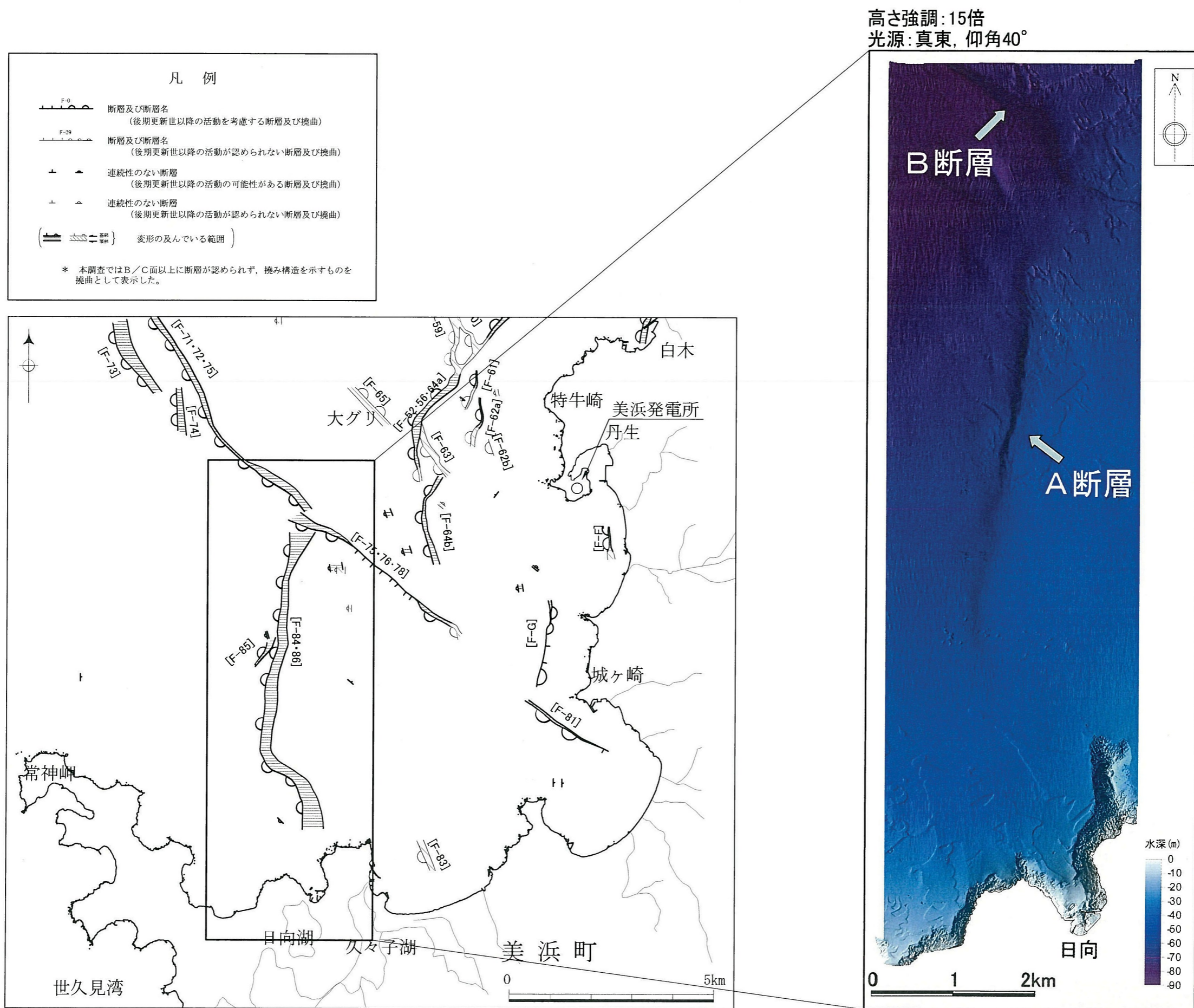
第1.2.3.1.23図(17) 野坂断層, B断層, 大陸棚外縁断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NDGM14)



第1.2.3.1.24図 三方断層周辺陸地の地質図



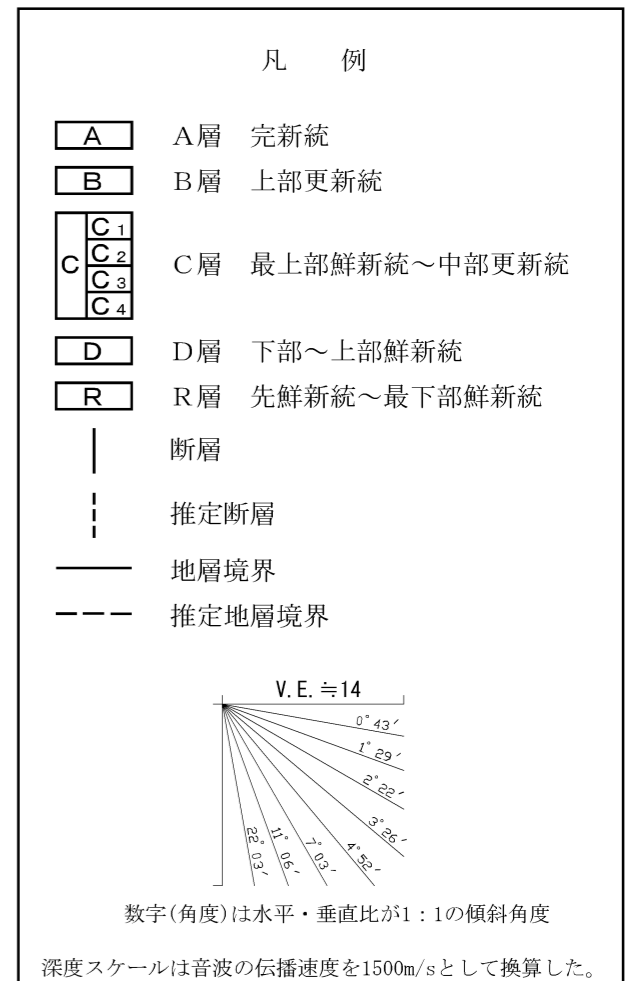
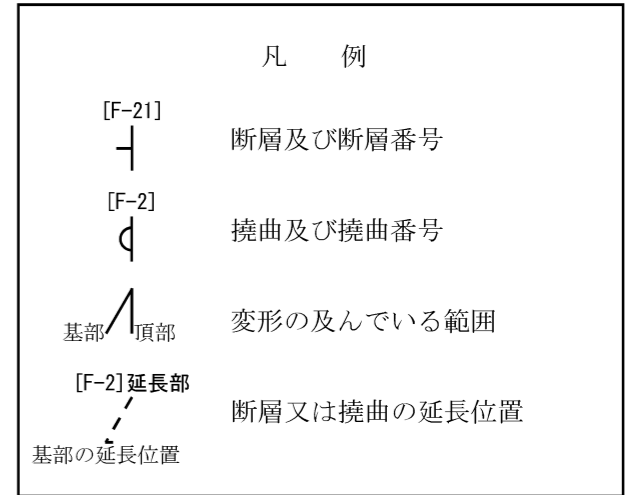
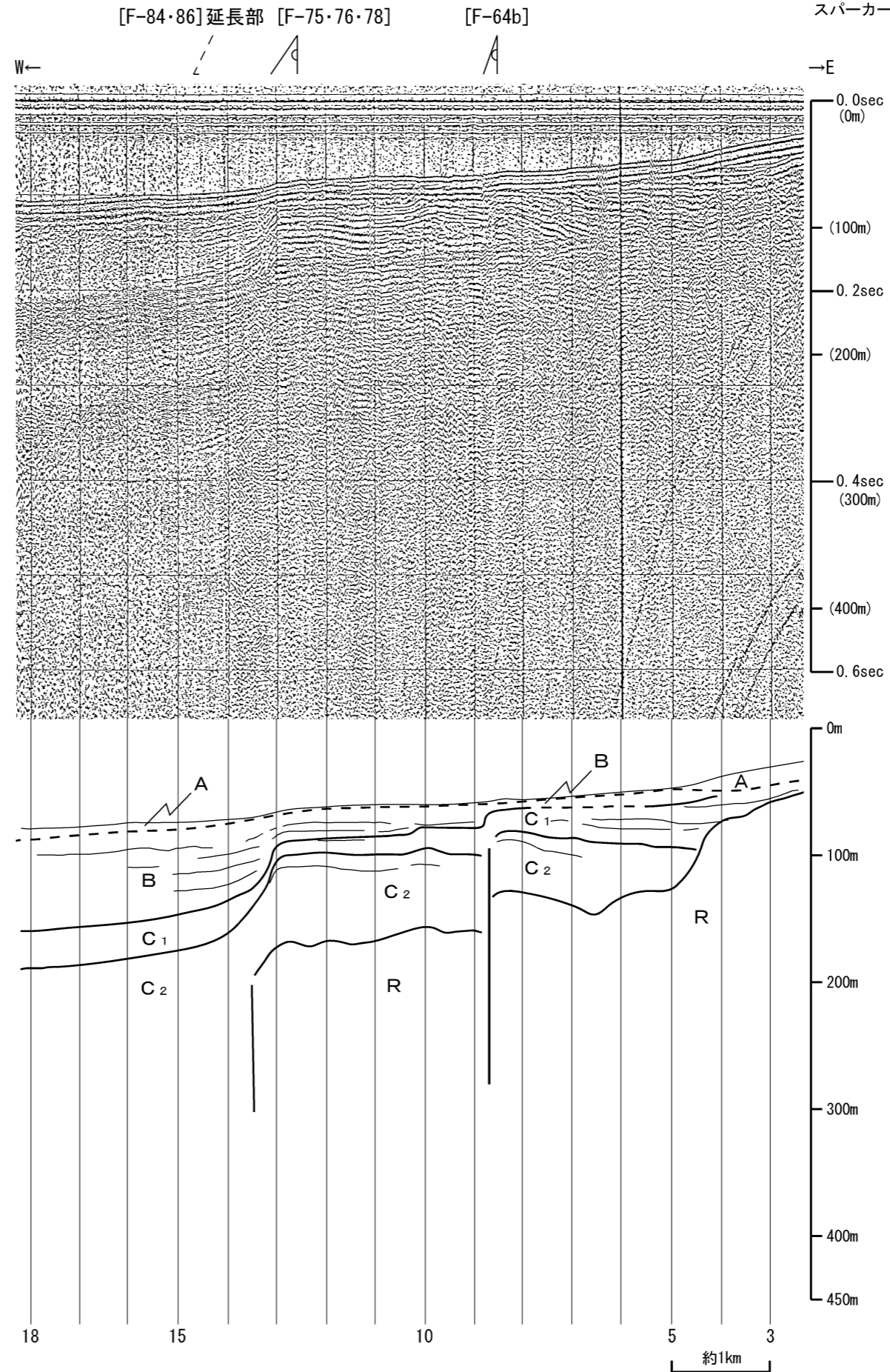
第1.2.3.1.25図 三方断層周辺陸域の地質断面図



第1.2.3.1.26図 三方断層(海域)周辺の海底地形調査結果

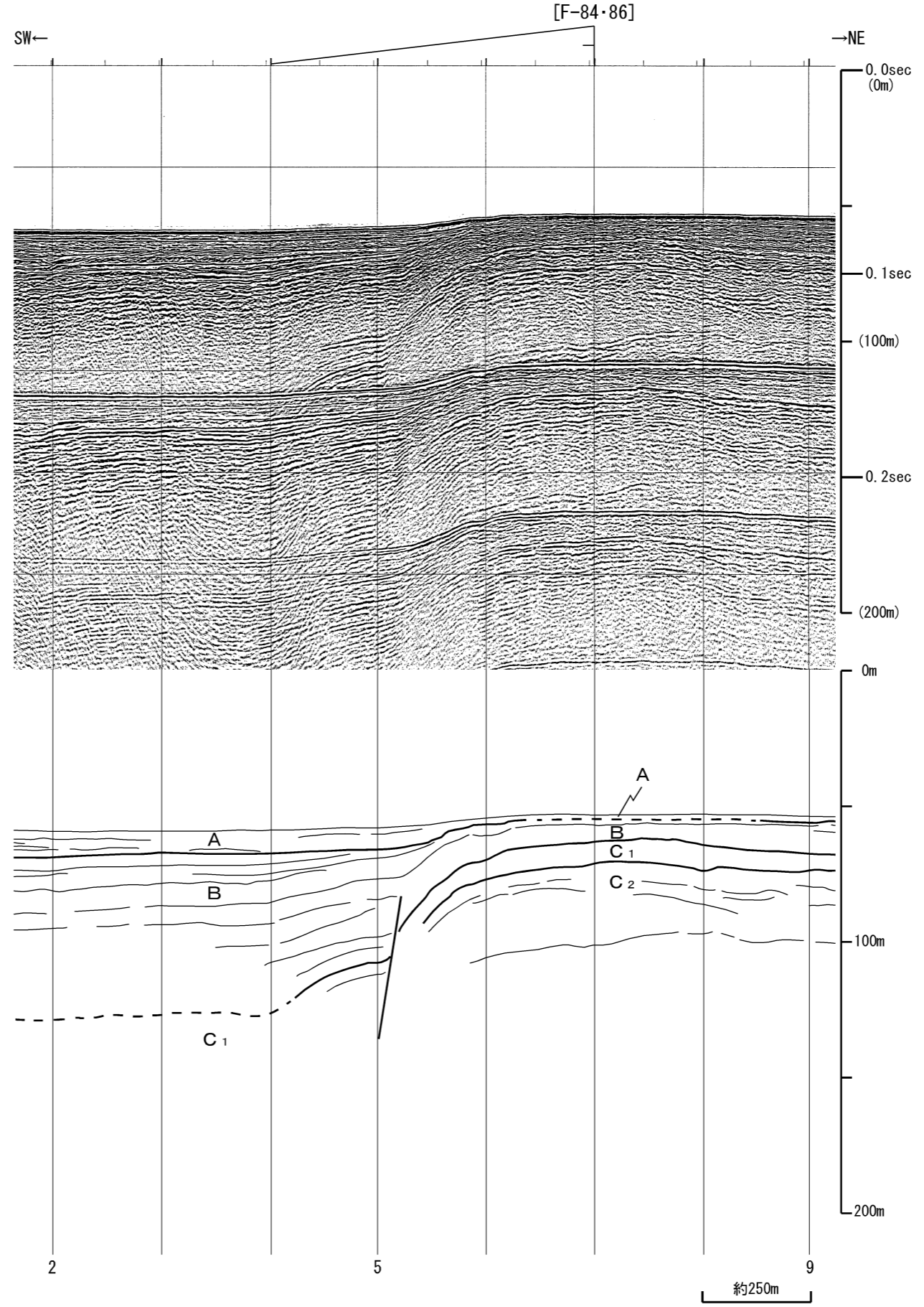
No. 40-2

海保(1980)
スーパーカー



音波探査記録は、海上保安庁水路部（現海上保安庁海洋情報部）の沿岸の海の基本図「若狭湾東部」の原資料である。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

第1.2.3.1.27図(1) 三方断層（海域）の海上音波探査記録及び地質断面図（No.40-2）



凡 例

- [F-21] 断層及び断層番号
- [F-2] 撓曲及び撓曲番号
- 基部 頂部 変形の及んでいる範囲
- [F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
- 基部の延長位置

凡 例

- A層 完新統
- B層 上部更新統
- C層 最上部鮮新統～中部更新統
 - C₁
 - C₂
 - C₃
 - C₄
- D層 下部～上部鮮新統
- R層 先鮮新統～最下部鮮新統
- 断層
- 推定断層
- 地層境界
- 推定地層境界

V. E. ≒ 6

1° 41'

3° 28'

5° 30'

7° 38'

11° 14'

15° 05'

24° 35'

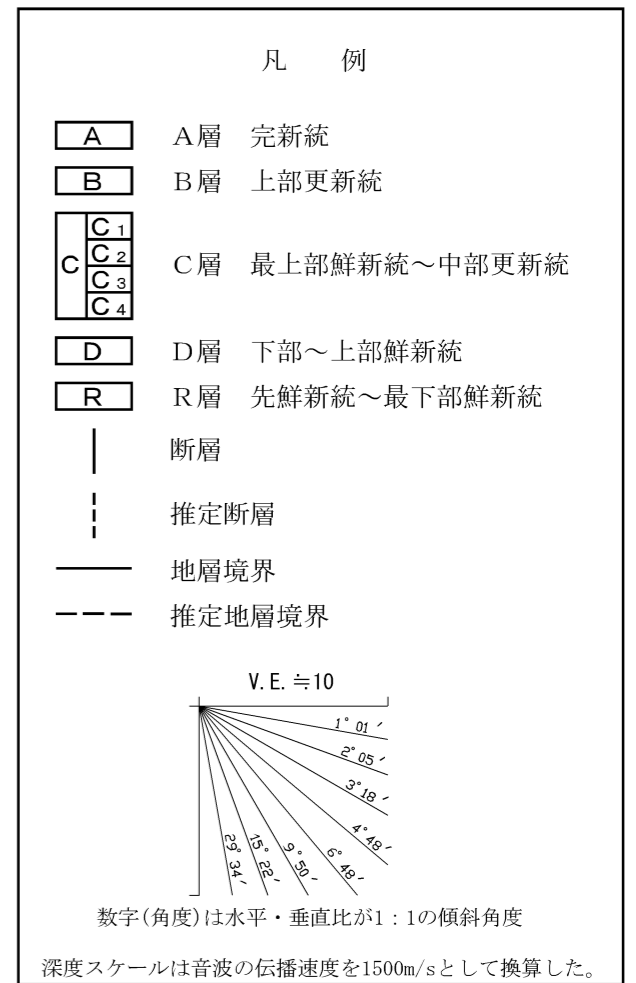
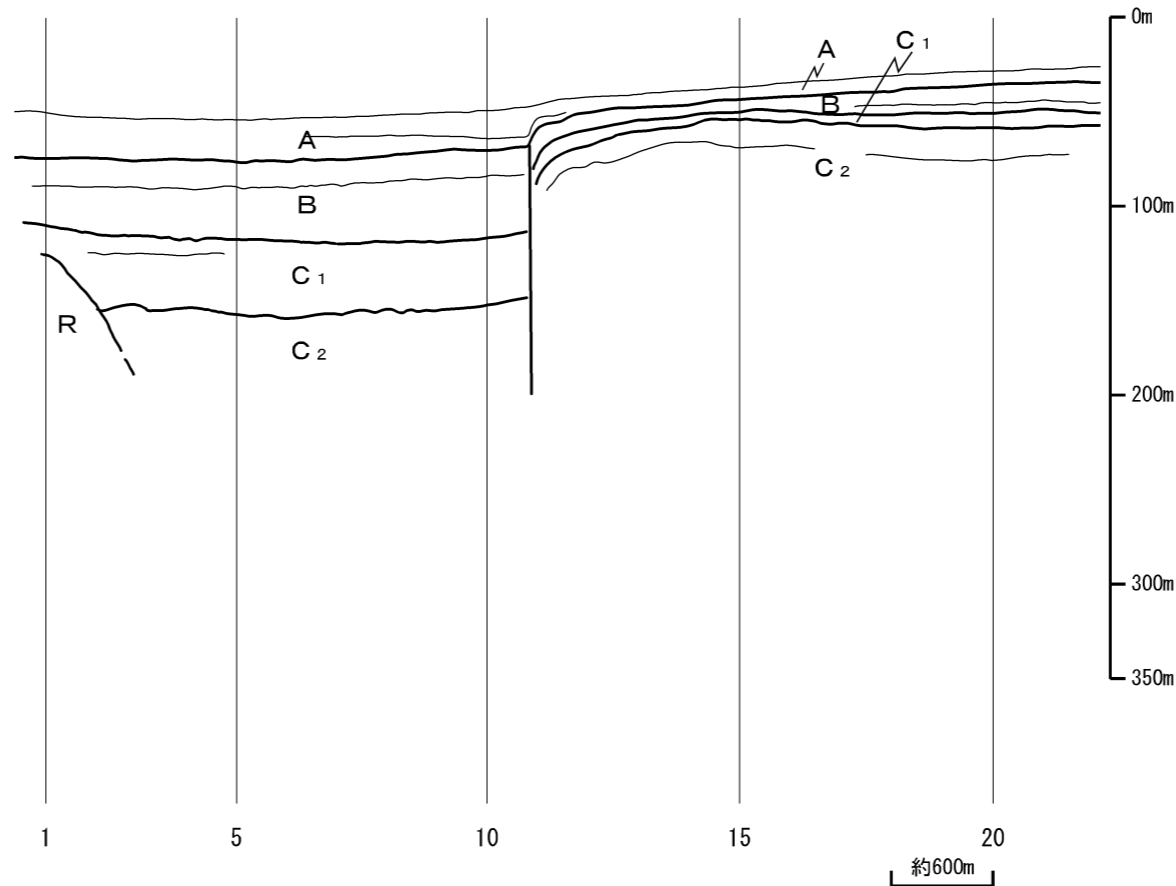
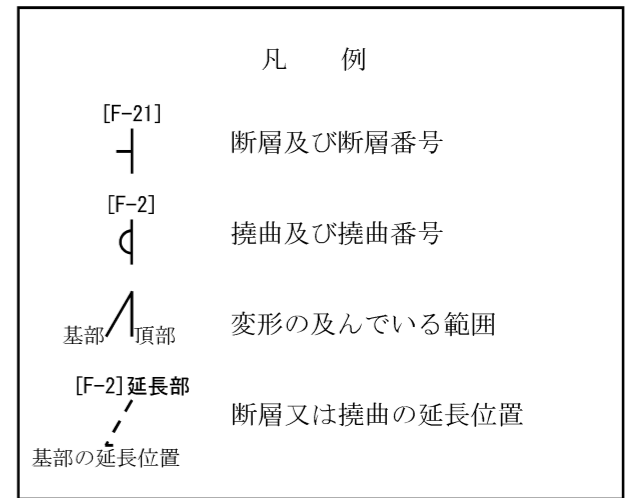
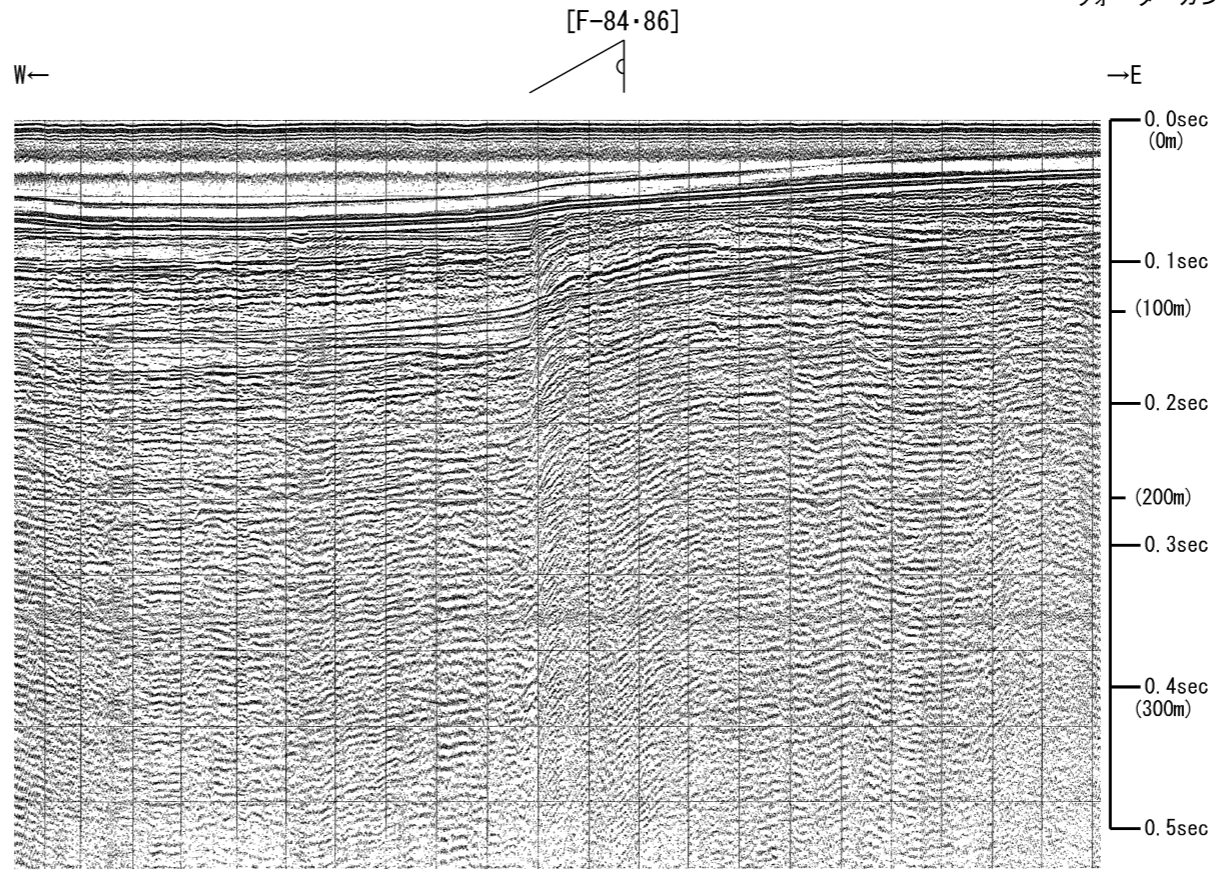
43° 23'

数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

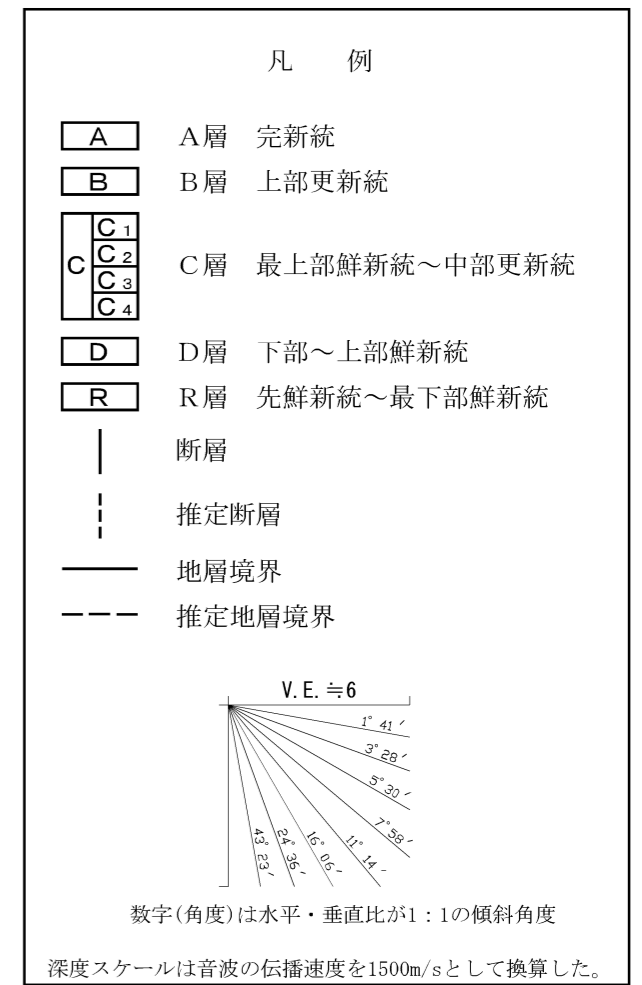
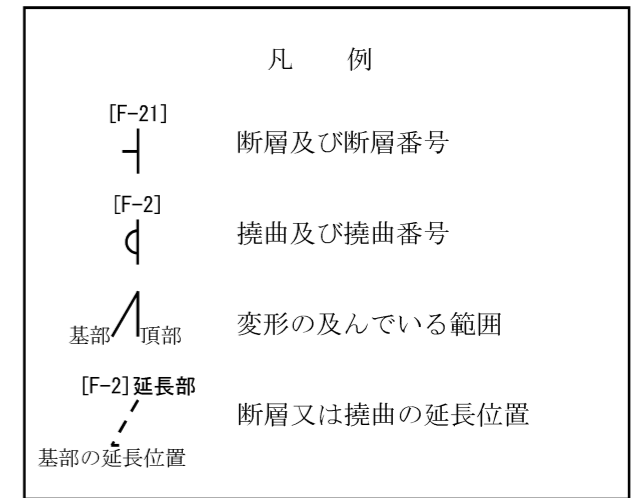
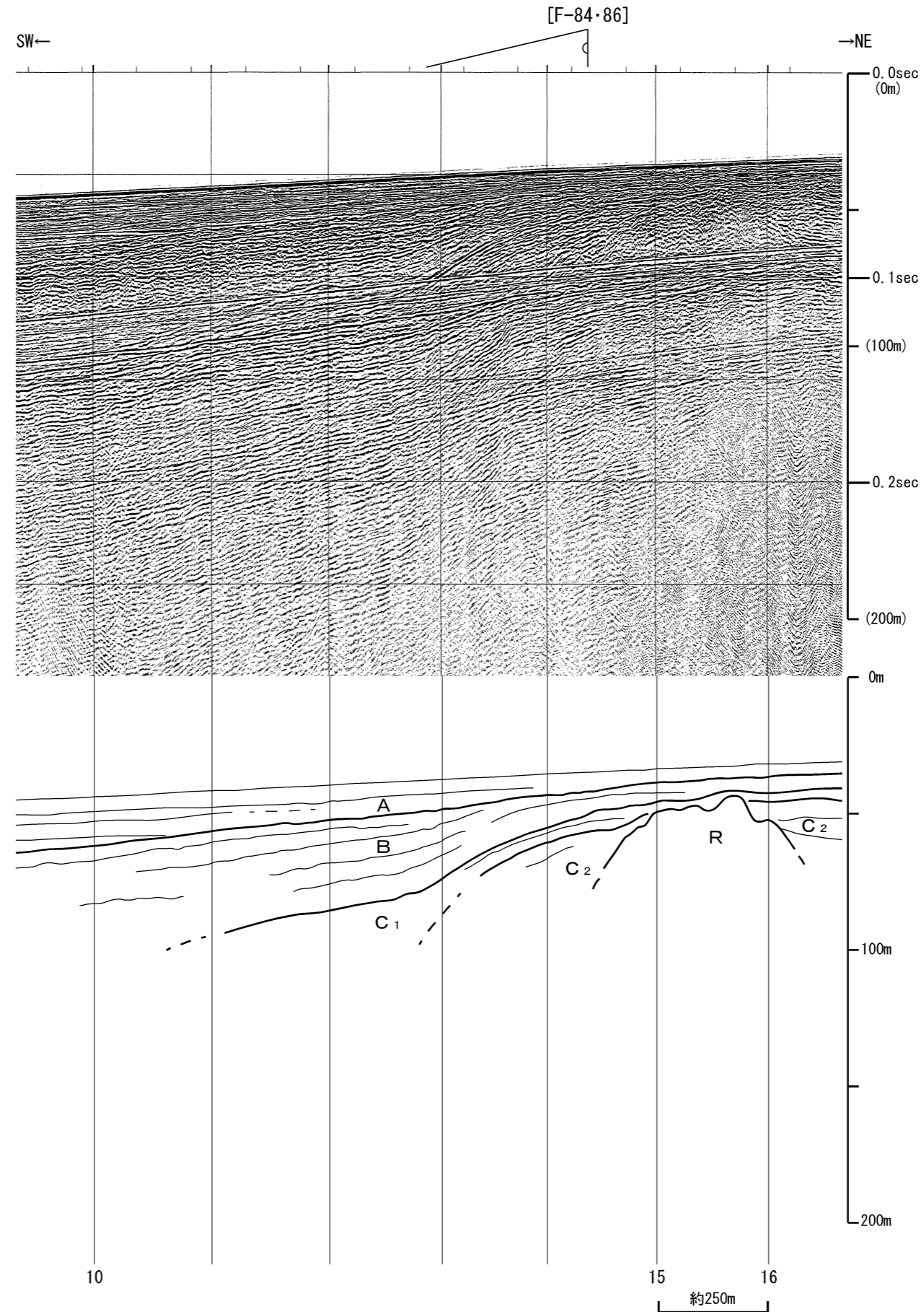
深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.27図(2) 三方断層（海域）の海上音波探査記録及び地質断面図（NDGM7）

AW46E
日本原電1998
ウォーターガン

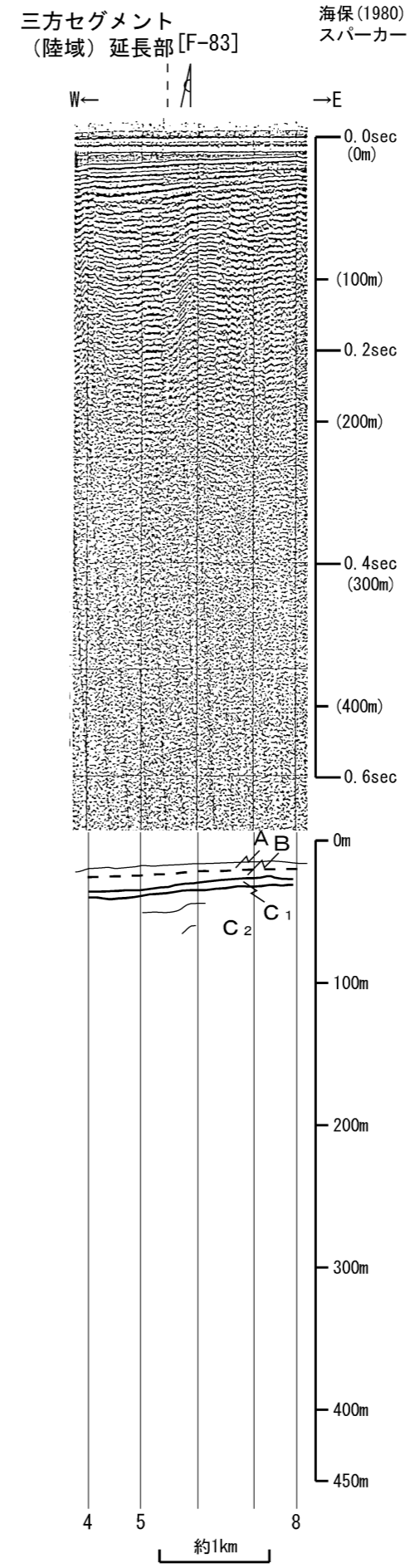


第1.2.3.1.27図(3) 三方断層 (海域) の海上音波探査記録及び地質断面図 (AW46E)



第1.2.3.1.27図(4) 三方断層 (海域) の海上音波探査記録及び地質断面図 (NDGM17)

No. 49-1
海保(1980)
スーパーカー



凡 例

[F-21]	断層及び断層番号
[F-2]	撓曲及び撓曲番号
基部 頂部	変形の及んでいる範囲
[F-2]延長部	断層又は撓曲の延長位置
基部の延長位置	

音波探査記録は、海上保安庁水路部（現海上保安庁海洋情報部）の沿岸の海の基本図「若狭湾東部」の原資料である。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

凡 例

A	A層 完新統
B	B層 上部更新統
C	C層 最上部鮮新統～中部更新統
C ₁	
C ₂	
C ₃	
C ₄	
D	D層 下部～上部鮮新統
R	R層 先鮮新統～最下部鮮新統
	断層
- - -	推定断層
—	地層境界
- - -	推定地層境界

V. E. ≒ 14

0° 43'

1° 29'

2° 22'

3° 26'

4° 52'

7° 03'

11° 05'

22° 03'

数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

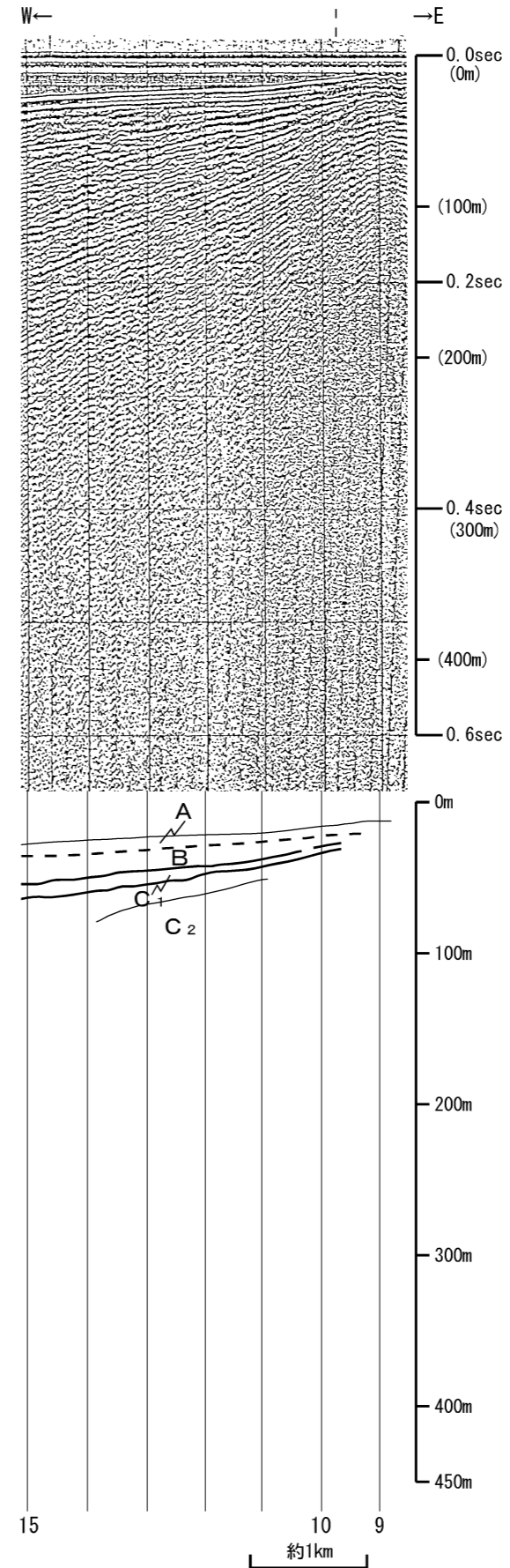
深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.27図(5) 三方断層（海域）の海上音波探査記録及び地質断面図（No.49-1）

No. 105-6

海保(1980)

三方セグメント
(陸域) 延長部
スーパーカー



凡 例

- [F-21] 断層及び断層番号
- [F-2] 撓曲及び撓曲番号
- 基部 頂部 変形の及んでいる範囲
- [F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
- 基部の延長位置

音波探査記録は、海上保安庁水路部（現海上保安庁海洋情報部）の沿岸の海の基本図「若狭湾東部」の原資料である。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

凡 例

- A層 完新統
- B層 上部更新統
- C層 最上部鮮新統～中部更新統
 - C₁
 - C₂
 - C₃
 - C₄
- D層 下部～上部鮮新統
- R層 先鮮新統～最下部鮮新統
- 断層
- 推定断層
- 地層境界
- 推定地層境界

V. E. ≒ 14

0° 43'

1° 29'

2° 22'

3° 26'

4° 52'

7° 03'

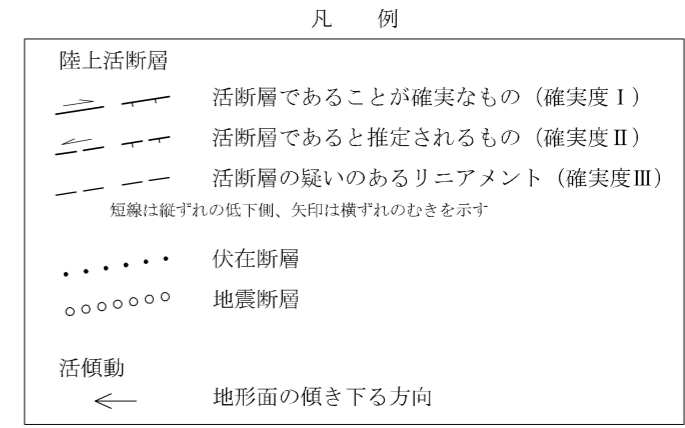
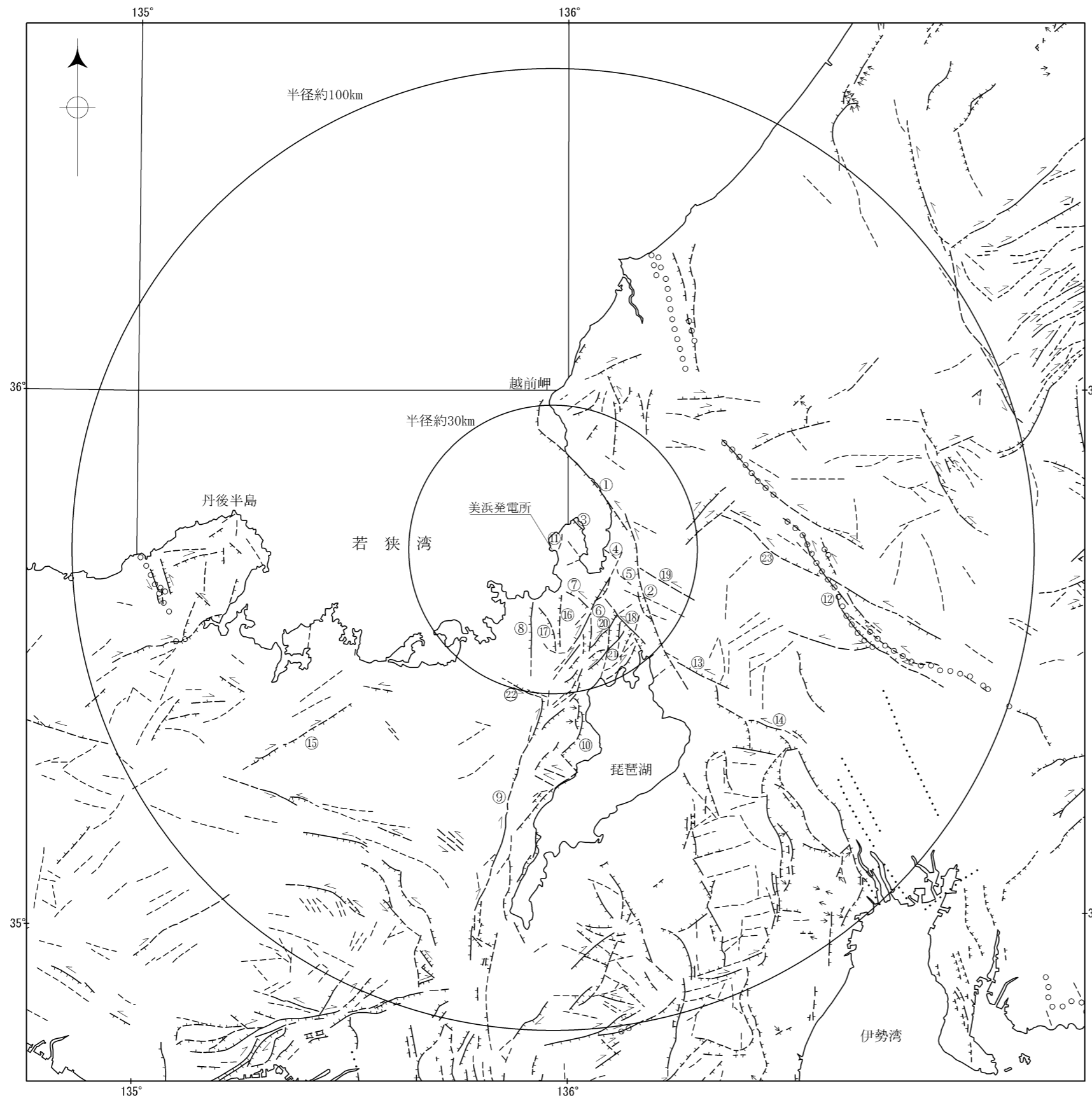
11° 05'

22° 03'

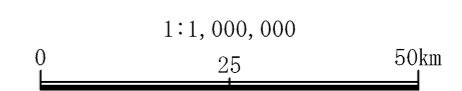
数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

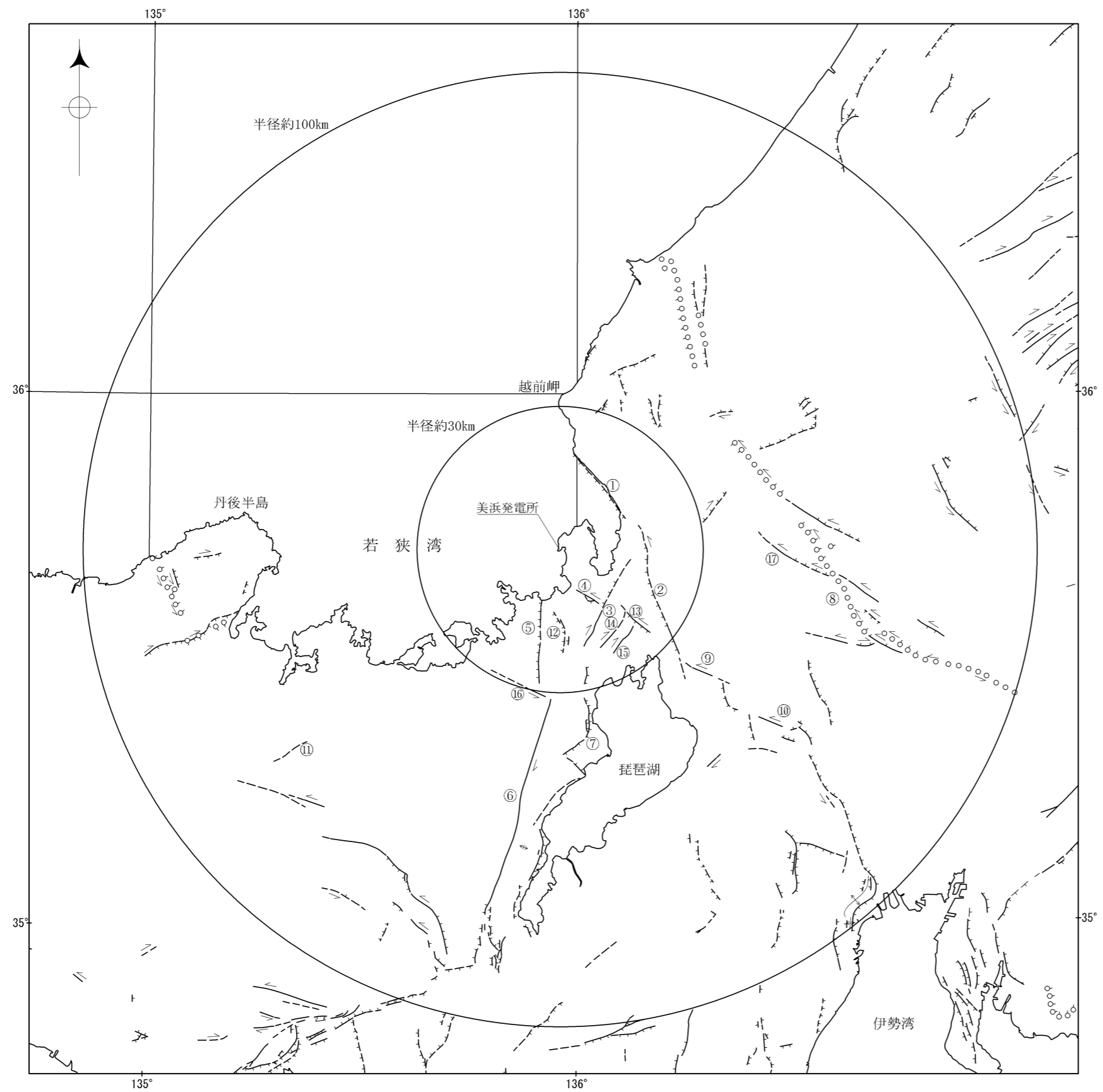
第1.2.3.1.27図(6) 三方断層（海域）の海上音波探査記録及び地質断面図（No.105-6）



①	甲楽城断層
②	柳ヶ瀬断層
③	浦底断層
④	ウツロギ峠
⑤	池河内断層
⑥	敦賀断層
⑦	野坂断層
⑧	三方断層
⑨	花折断層
⑩	琵琶湖西岸断層系
⑪	白木一丹生
⑫	濃尾地震断層系
⑬	鍛冶屋断層
⑭	関ヶ原断層
⑮	上林川断層
⑯	奥一松屋
⑰	耳川断層
⑱	集福寺断層
⑲	奥川並断層
⑳	駄口断層
㉑	路原断層
㉒	熊川断層
㉓	揖斐川断層



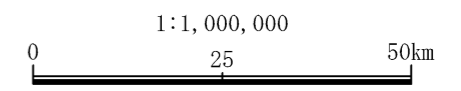
第1.2.3.1.28図 敷地周辺陸域の活断層分布図「[新編]日本の活断層」
(半径約100km)



凡 例

○ ○ ○ ○ ○ ○	地震断層
—————	活断層 (主として第四紀後期に活動したもの)
- - - - -	推定活断層 (同上)
○ ○ ○ ○ ○ ○	上記の断層における変位の向き (矢印は走向ずれの方向、ケバは落下側を示す)
—————	第四紀後期層の背斜軸

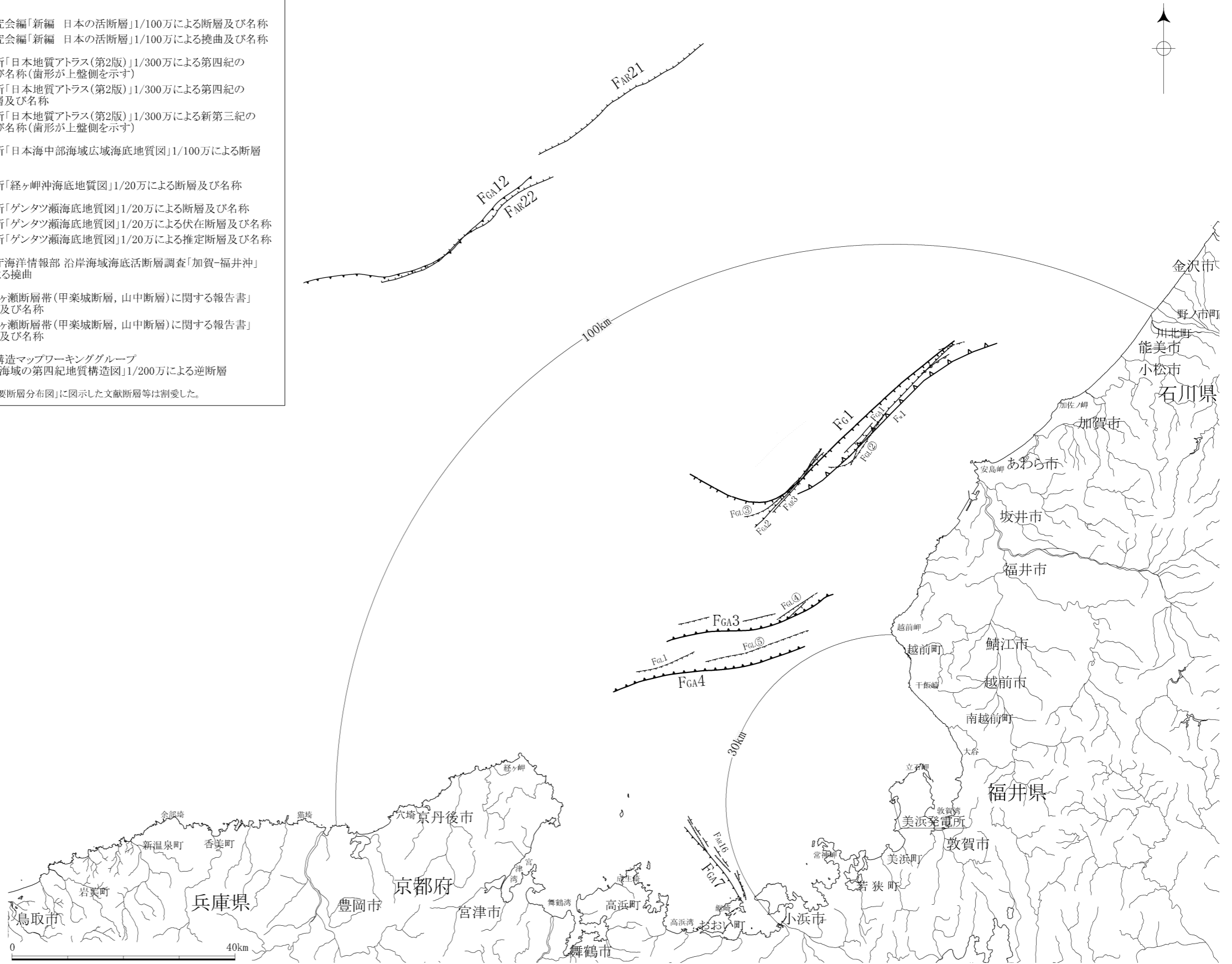
①	甲楽城断層
②	柳ヶ瀬断層
③	敦賀断層
④	野坂断層
⑤	三方断層
⑥	花折断層
⑦	琵琶湖西岸断層系
⑧	濃尾地震断層系
⑨	鍛冶屋断層
⑩	関ヶ原断層
⑪	上林川断層
⑫	耳川断層
⑬	集福寺断層
⑭	駄口断層
⑮	路原断層
⑯	熊川断層
⑰	揖斐川断層



※『50万分の1活構造図「岡山」「金沢」「京都(第2版)」』より作成

第1.2.3.1.29図 敷地周辺陸域の活断層分布図「活構造図」
(半径約100km)

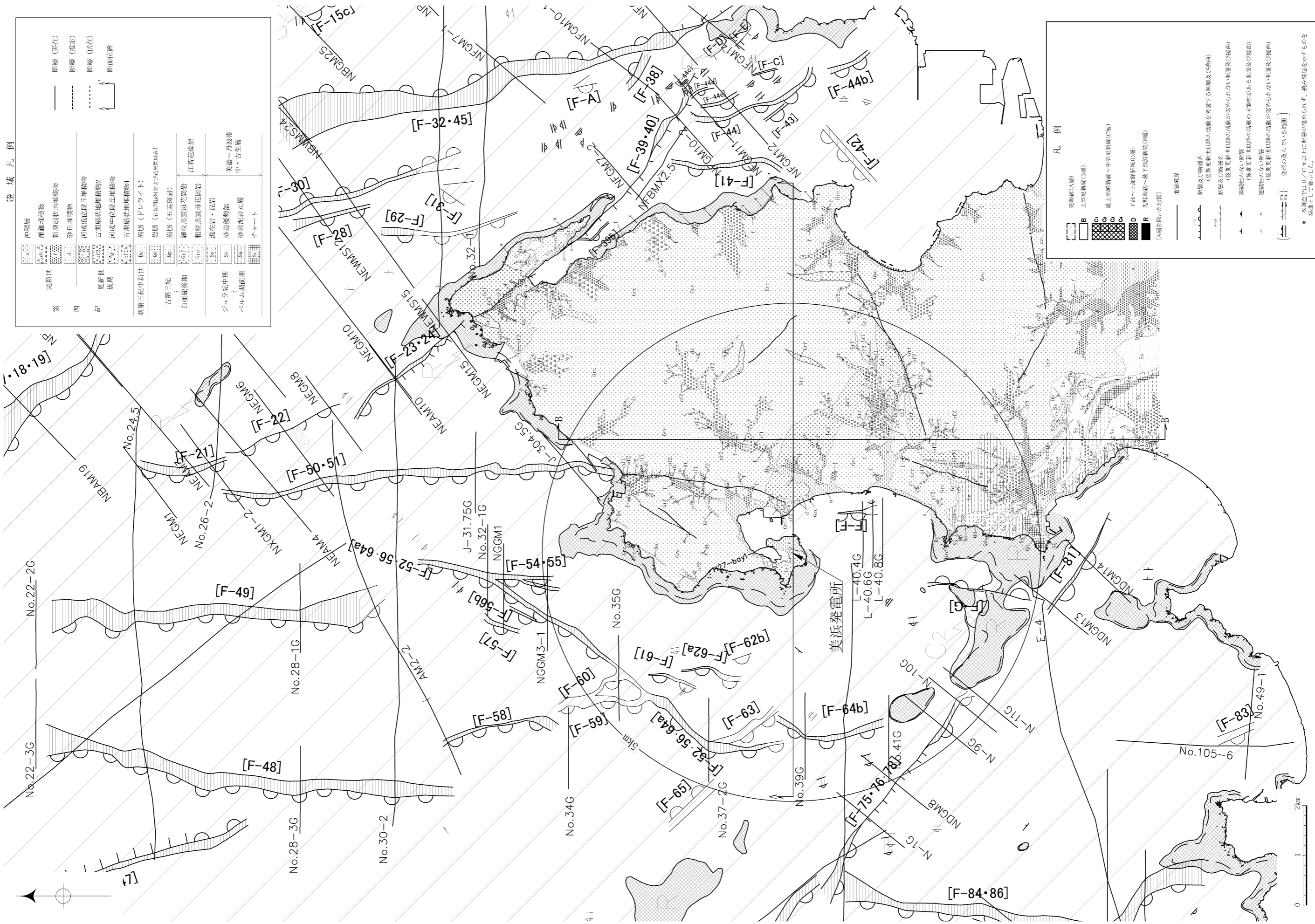
凡 例	
	活断層研究会編「新編 日本の活断層」1/100万による断層及び名称
	活断層研究会編「新編 日本の活断層」1/100万による拗曲及び名称
	地質調査所「日本地質アトラス(第2版)」1/300万による第四紀の逆断層及び名称(歯形が上盤側を示す)
	地質調査所「日本地質アトラス(第2版)」1/300万による第四紀の横ずれ断層及び名称
	地質調査所「日本地質アトラス(第2版)」1/300万による新第三紀の逆断層及び名称(歯形が上盤側を示す)
	地質調査所「日本海中部海域広域海底地質図」1/100万による断層及び名称
	地質調査所「経ヶ岬沖海底地質図」1/20万による断層及び名称
	地質調査所「ゲンタツ瀬海底地質図」1/20万による断層及び名称
	地質調査所「ゲンタツ瀬海底地質図」1/20万による伏在断層及び名称
	地質調査所「ゲンタツ瀬海底地質図」1/20万による推定断層及び名称
	海上保安庁海洋情報部 沿岸海域海底活断層調査「加賀-福井沖」1/10万による拗曲
	福井県「柳ヶ瀬断層帯(甲楽城断層, 山中断層)に関する報告書」による断層及び名称
	福井県「柳ヶ瀬断層帯(甲楽城断層, 山中断層)に関する報告書」による拗曲及び名称
	海域地質構造マップワーキンググループ「日本周辺海域の第四紀地質構造図」1/200万による逆断層
* 「敷地前面海域の主要断層分布図」に図示した文献断層等は割愛した。	



第1.2.3.1.30図 敷地周辺海域の主要断層分布図

陸域凡例

神積層	断層(実在)
権成堆積物	断層(推定)
新期扇状地堆積物	断層(推定)
砂丘堆積物	断層(推定)
河成低位段丘堆積物	断層(推定)
古期扇状地堆積物2	断層(推定)
河成中位段丘堆積物	断層(推定)
古期扇状地堆積物1	断面位置
岩脈 (ドレライト)	
岩脈 (石英斑岩)	
岩脈 (石英斑岩)	
粗粒黒雲母花崗岩	
粗粒黒雲母花崗岩	
混成岩・泥岩	
砂岩優勢部	
砂岩泥岩互層	
チャート	
美濃一戸波帯 中・古生層	
第三紀	
白亜紀後期	
ジュラ紀中期	
ペルム期前期	



凡例

完新統(A層)	断層境界
上部更新統(B層)	断面及び断層名 (後期更新世以降の活動を考慮する断面及び断層)
最上部新統(C層)	断面及び断層名 (後期更新世以降の活動を認められない断面及び断層)
下部～上部新統(D層)	連続性のない断層 (後期更新世以降の活動の可能性のある断面及び断層)
先新統～最下部新統(E層)	連続性のない断層 (後期更新世以降の活動を認められない断面及び断層)
[A層を除いた断層]	変形の及んでいない範囲
	変形の及んでいる範囲

* 本図ではB/C中以上は断面が認められず、縮み歪みを示すものを極曲として表した。

海上官報陸域地質図及び地質断面図に示した範囲

第1.2.3.2.1図 敷地近傍の地質図